



聖と霞

真正銘
鬼様だ

はなとかすみ

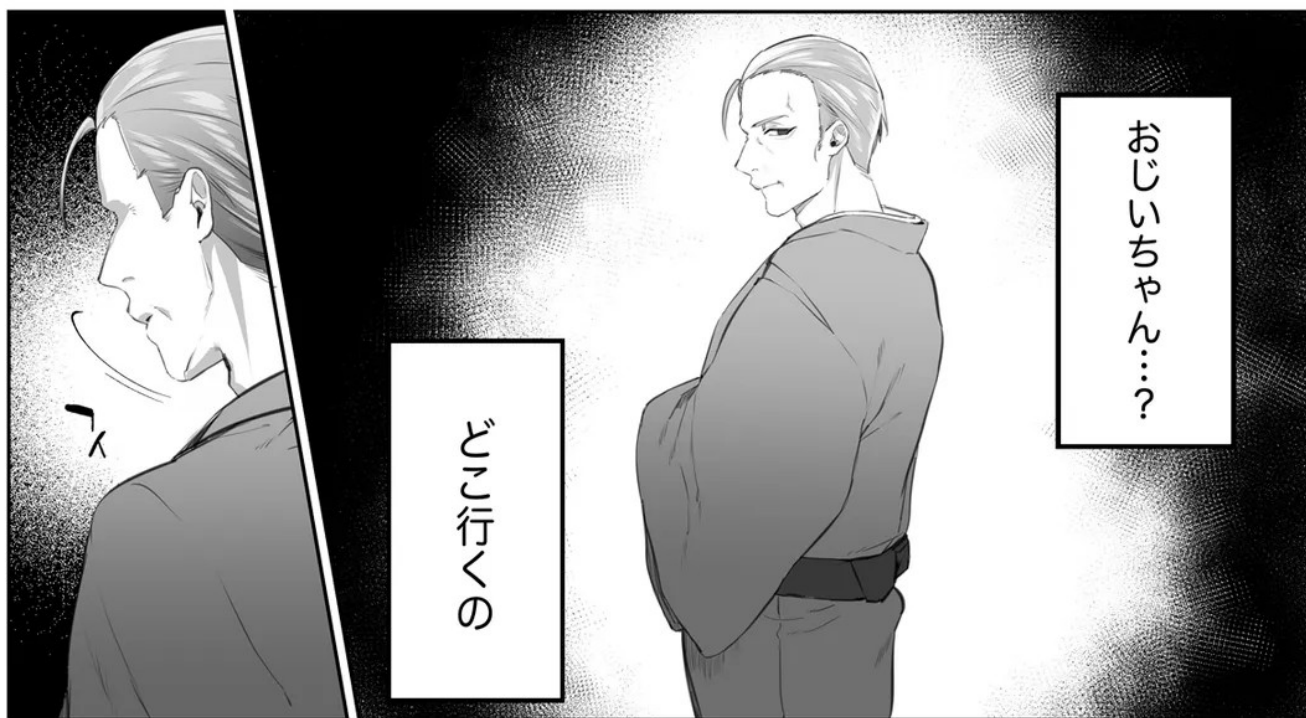
封印されていたのは

鬼畜ドSな俺様系式神でした

まさか今頃
訳ではある

随分と
イイ女に
なったじゃねえか

あ？



おじいちゃん...?

どこ行くの



やだ...行かないで
おじいちゃん...

あ...待って
置いていかないで



ひとりにし
ないで...

たまに
3年前に他界した
祖父の夢を見る

まただ…

私は早くに両親を
亡くしたらしく、
祖父とその周りが
育ての親だった

厳しい人だったから
礼儀作法を
叩き込まれたけど

それと同時に
一人娘として
大事にされ、
何不自由なく
育てて貰ったと思う

今日は私の
18歳の誕生日



祖父の遺言通り

この封筒を
開ける時が来た……！

志乃



まだ残ってる
遺産の話とか
だつたら
どうしよう……

私そういうの
苦手
なんだよね……



これは……！

うん

うん……

……どういうこと？

手紙には

18歳になると
私の中に眠る
妖力(?)が覚醒
してしまうこと

それを狙う怪物が
私を襲うであろう
こと

私が大人になるまで
守るつもりだったが
叶わず辛い思いを
させてしまうこと

にわかに
信じがたいことが
書かれていたけど

あのおじいちゃんが
ふざけてこんな手紙
残すわけないもの

…?
?

今 何かに見られてた…?

ね…







やばい
なにあれ

ずっと
追いかけてくるっ



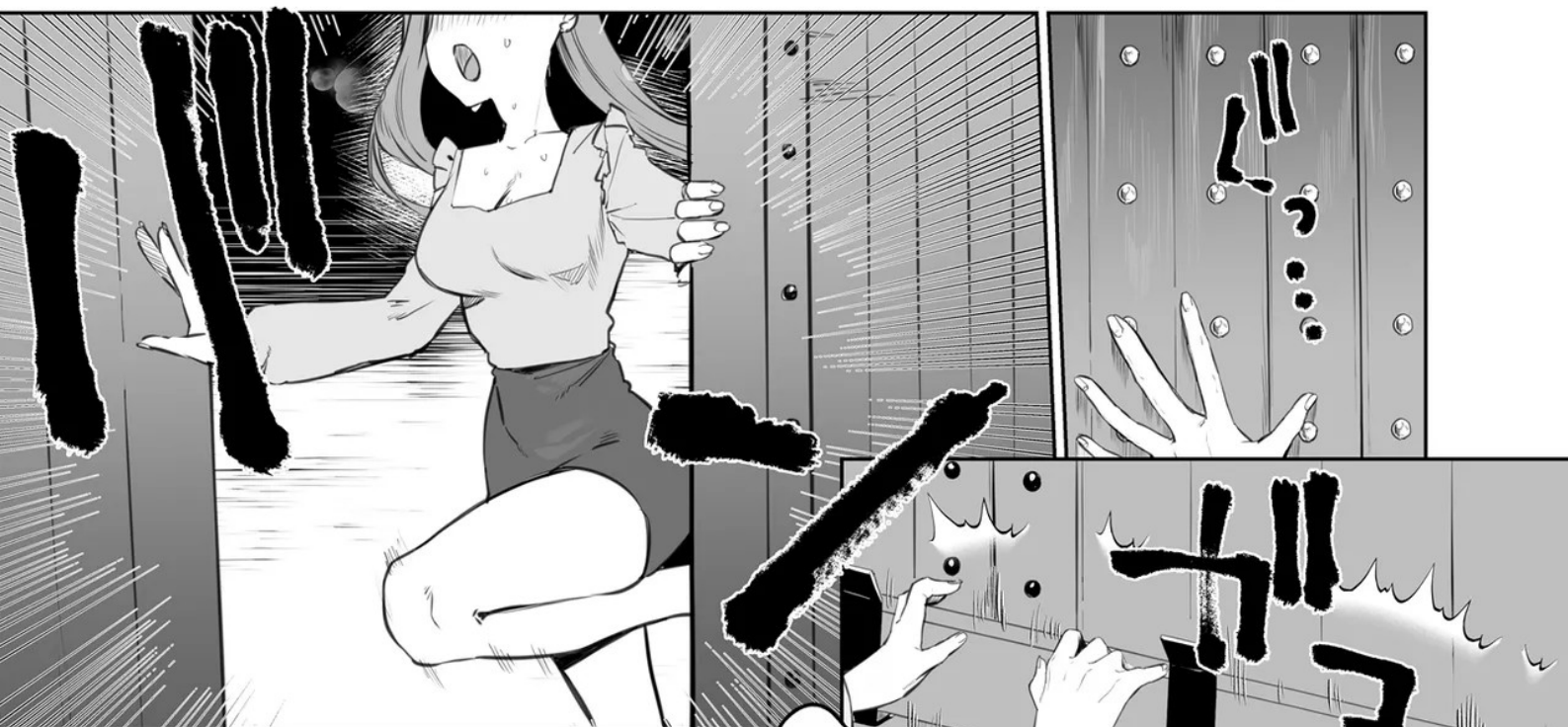
もうっ…
脚も…!!

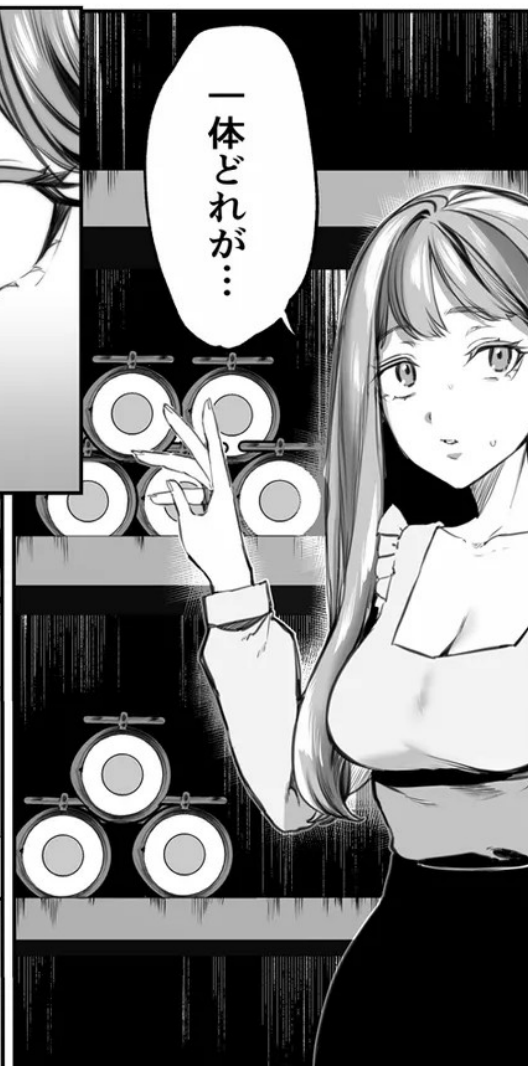
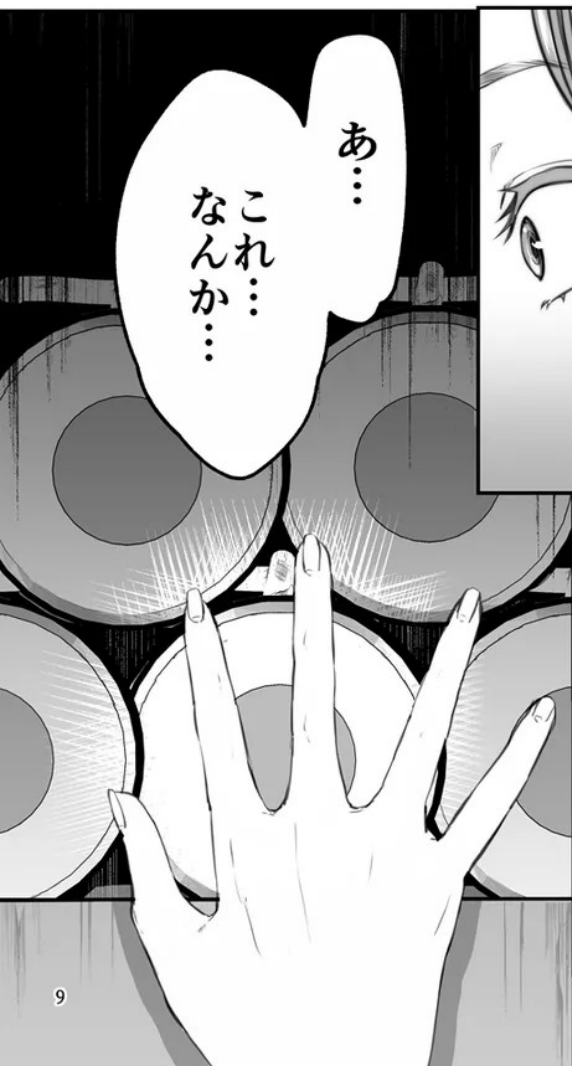
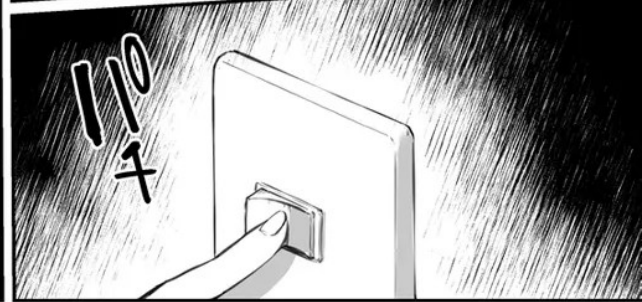
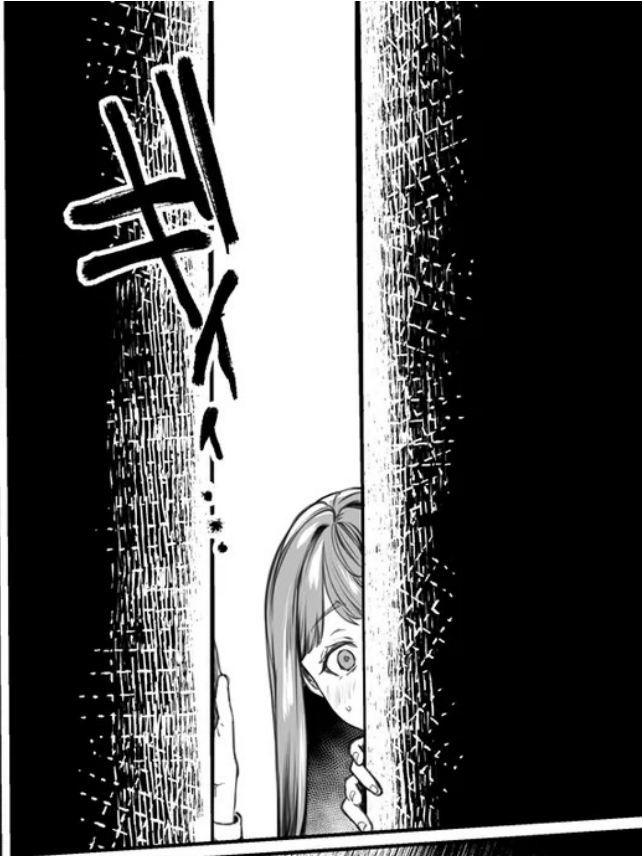


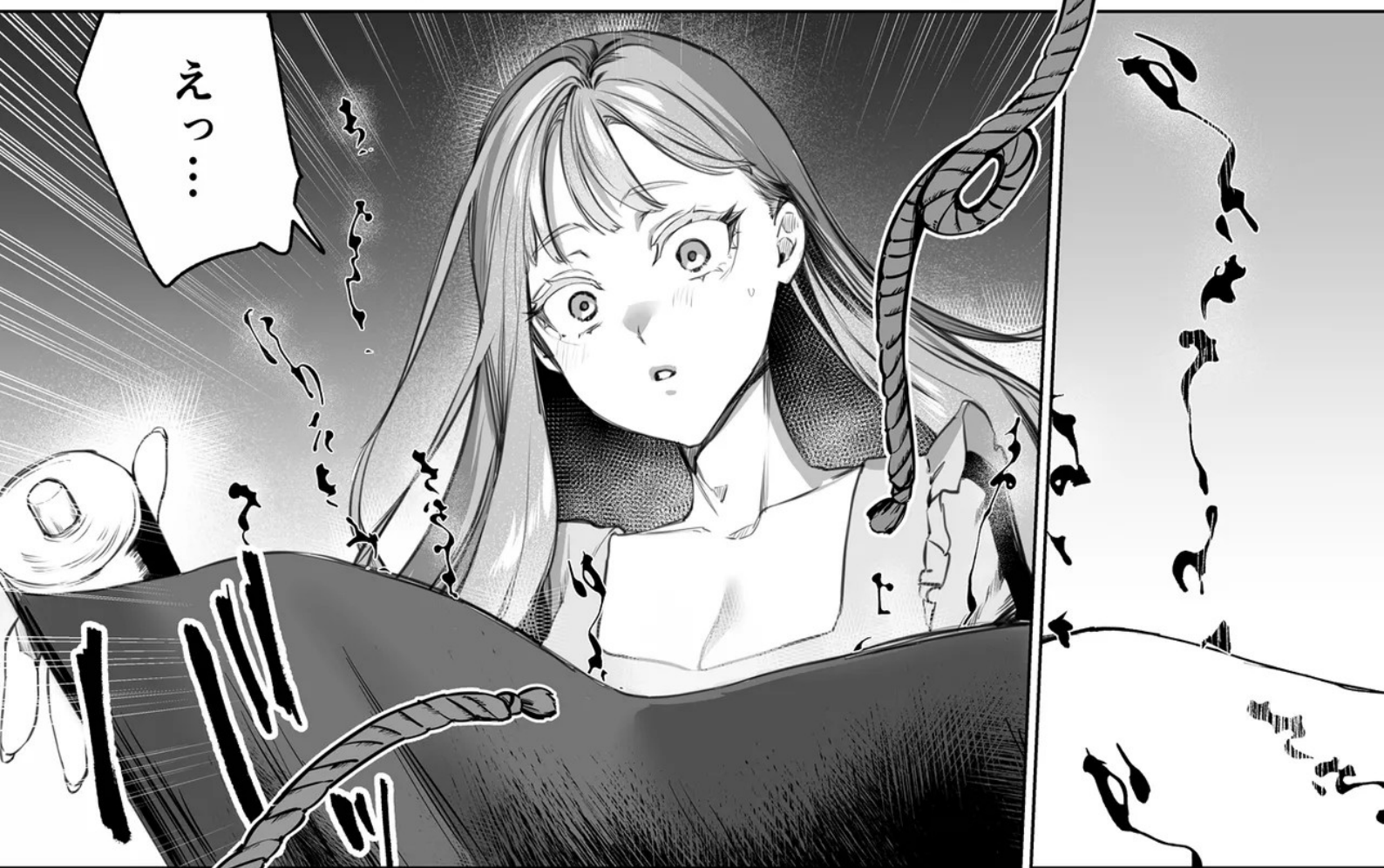
屋敷の方に走ってる
はずなのに一向に
見つからないし!



もう息も
体力も
限界…!!









あ…?

こんな狭めーところに
何年も閉じ込め
やがって

お前…



式神…？

ほお…

もしかして
この人が

随分と
イイ女に
なったじゃねえか

なるほどねえ



あ？

式神さん…

ですか…？

おじいちゃんのっ





祖父の手紙でっ

私が怪物に襲われる
ことを知りました…

今も道で会った
やばいののに
追われててっ…

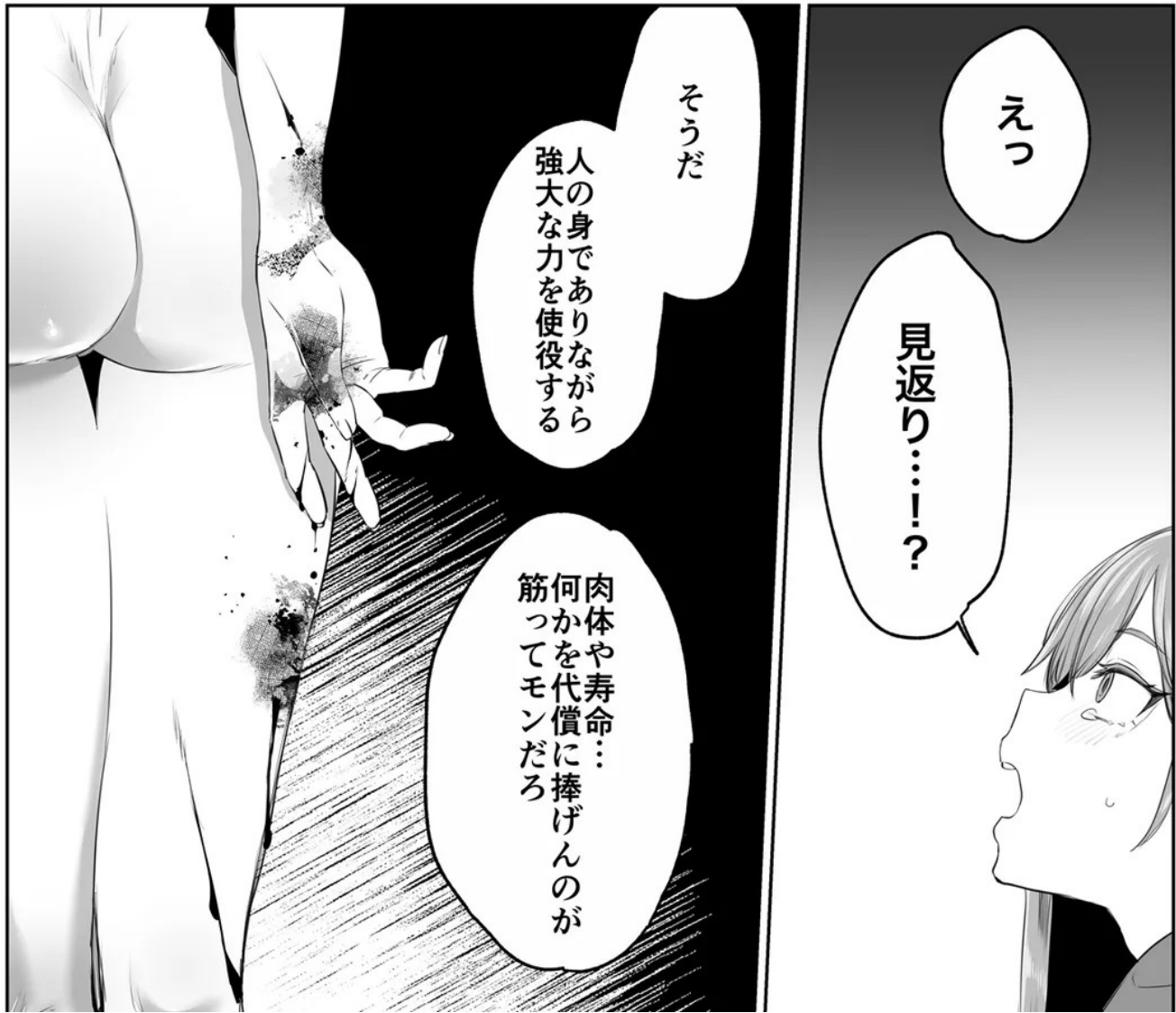
助けてほしいんです…!



お願いします…

お願いも
イイんだけどよ

俺への見返りは
なんだ?



えっ

見返り…!?

そうだ

人の身でありながら
強大な力を使役する

肉体や寿命…
何かを代償に捧げんのが
筋ってモンだろ

身体や
じゅ、寿命…を
代償に…!?

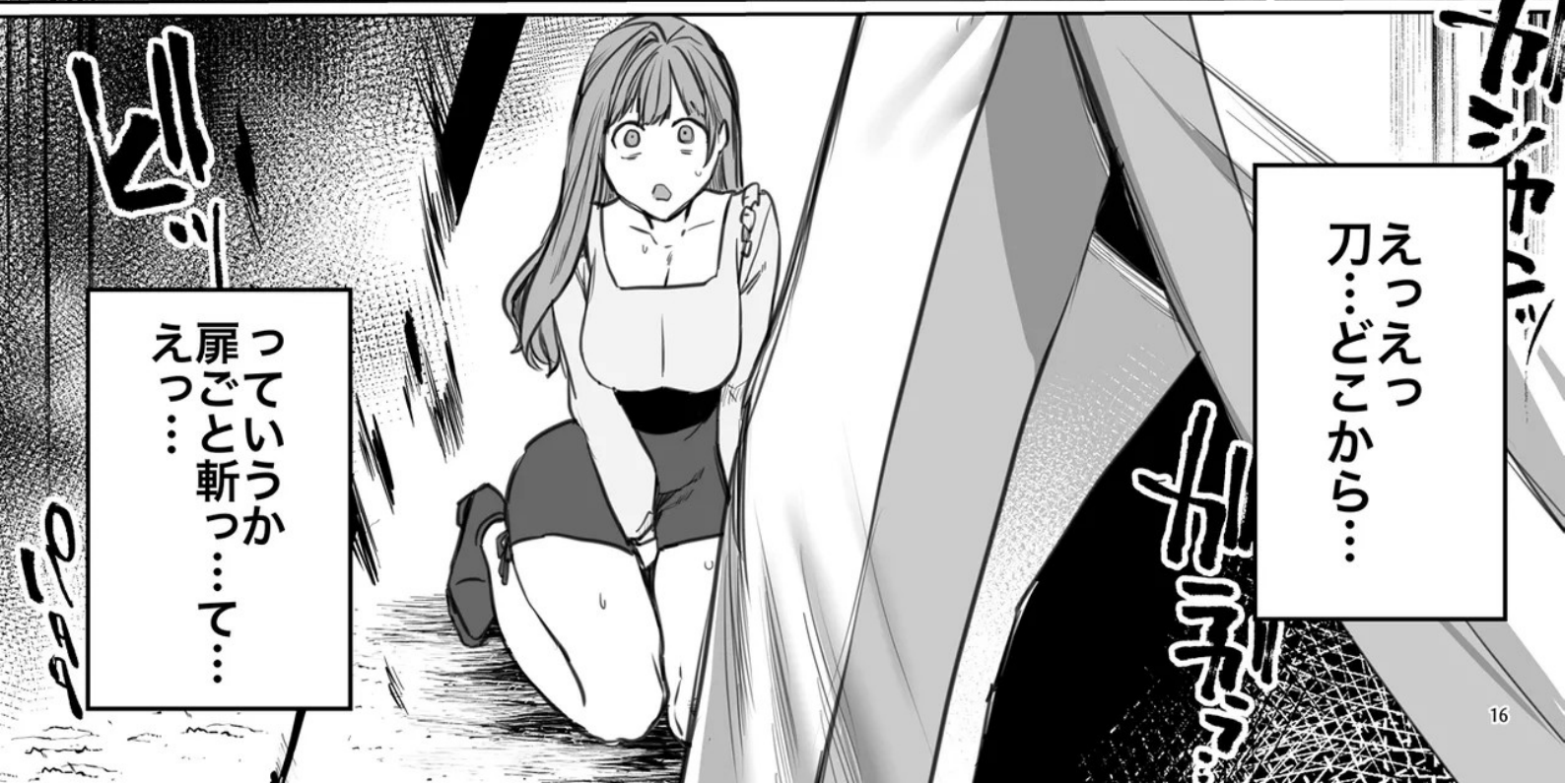
そんなのどこにも
書いてな……

ッ…わかり
ました!

なんでもするから
助けてください……!!

どうする

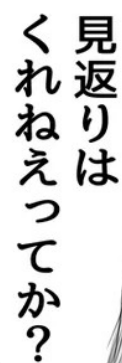
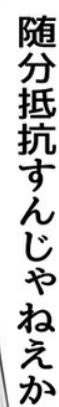
下がってろ



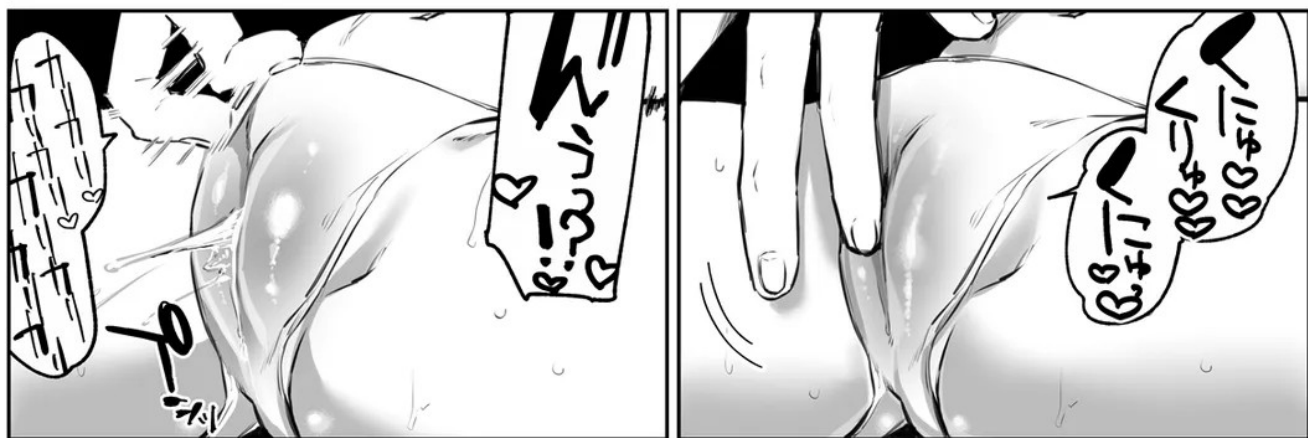
えっえっ
刀…どこから…

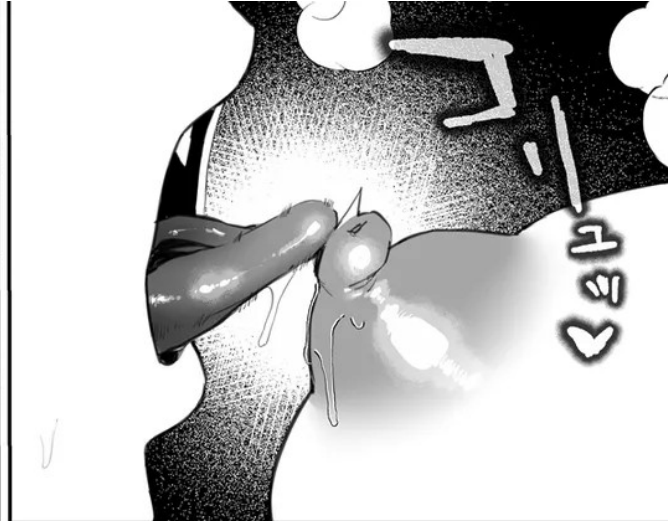
っていうか
扉ごと斬っ…て…
えっ…

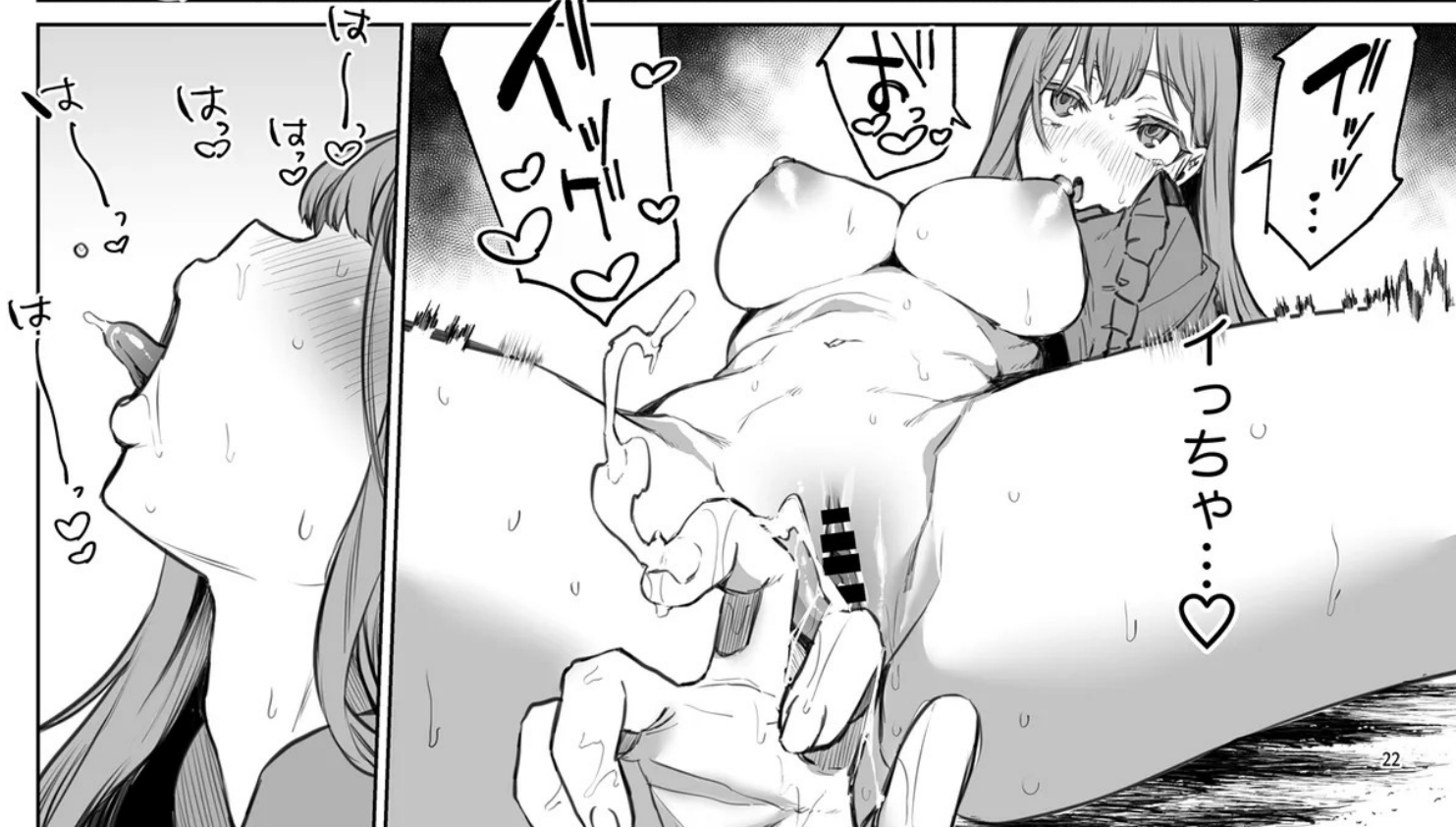
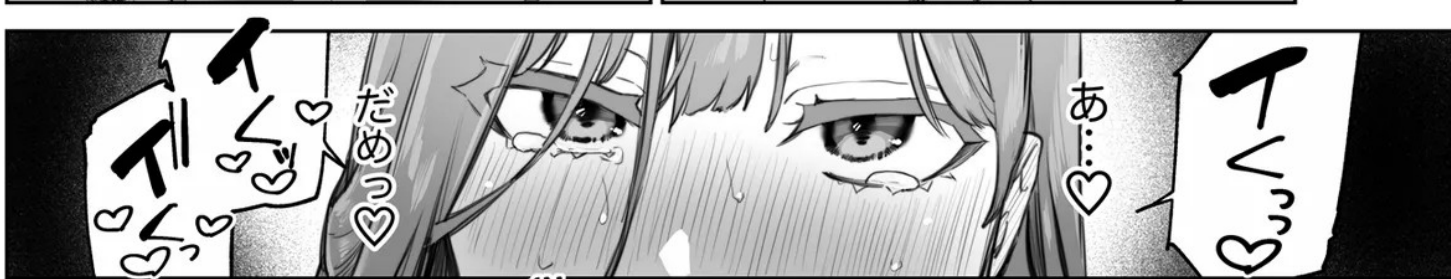








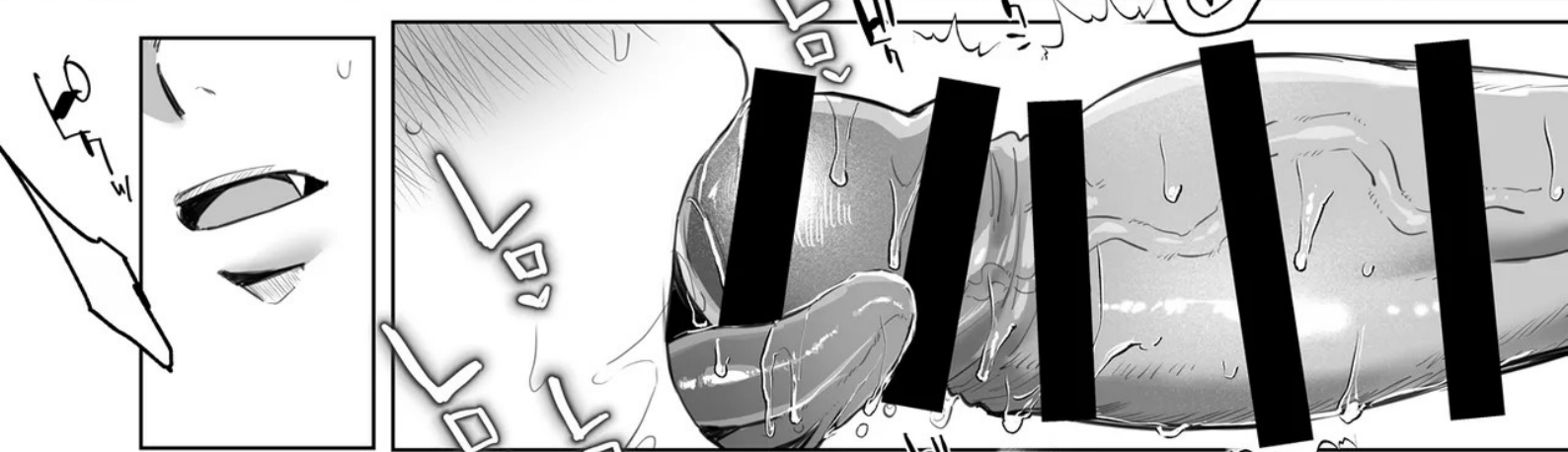




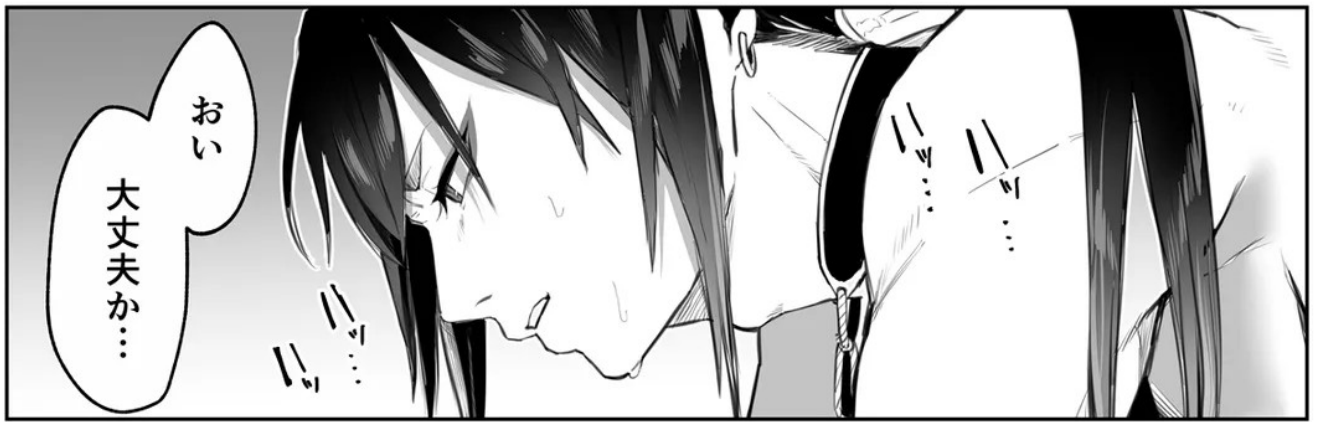
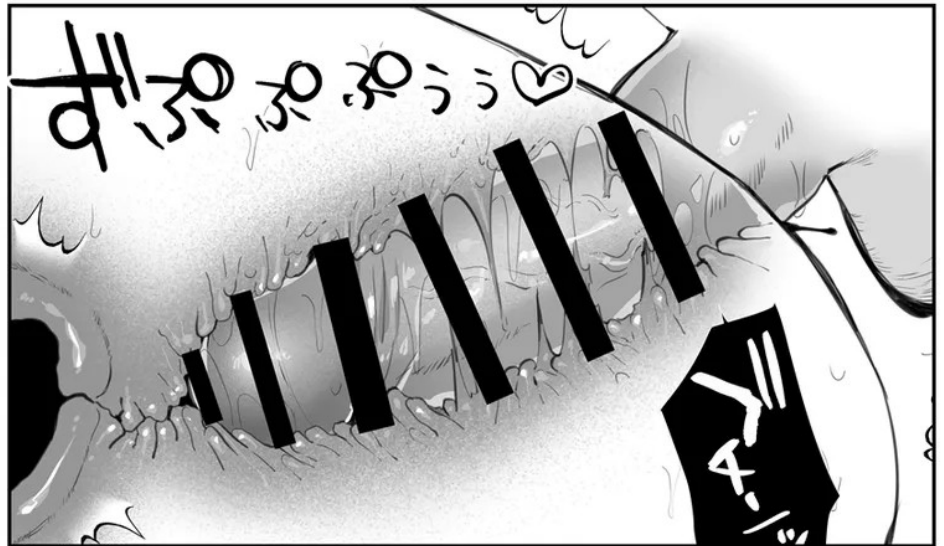




先っぽも全然
入らない…









あ…やばいこれ

気持ちいいの
いっぱいくる♡

気持ちいいので
あたちやうぱいに♡



はあ♡ほ♡

式神しゃん♡

ほんとに♡
しんじやうからあ♡

おねがいい♡

やめてえ♡



取れッ!

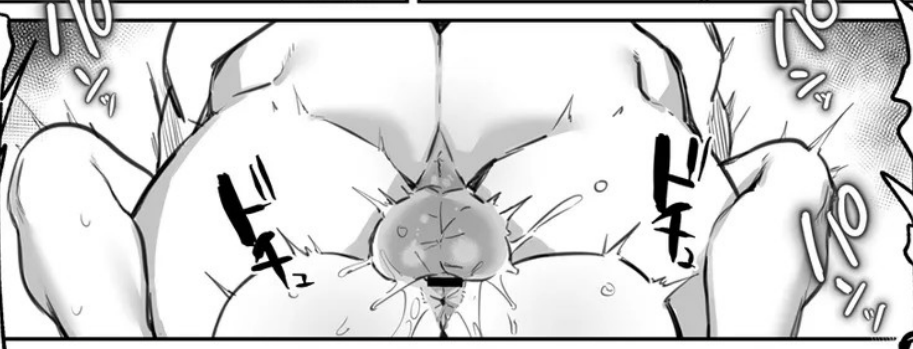


あ?
お前が俺を
喚んだんだろ

神を起こした
責任くらい



その
よがつてるの
なんとかして
から言え!



つーか
やめてくれとか
頼むんなら



出すぞッ...

サッ...

ああ

ぐっ...

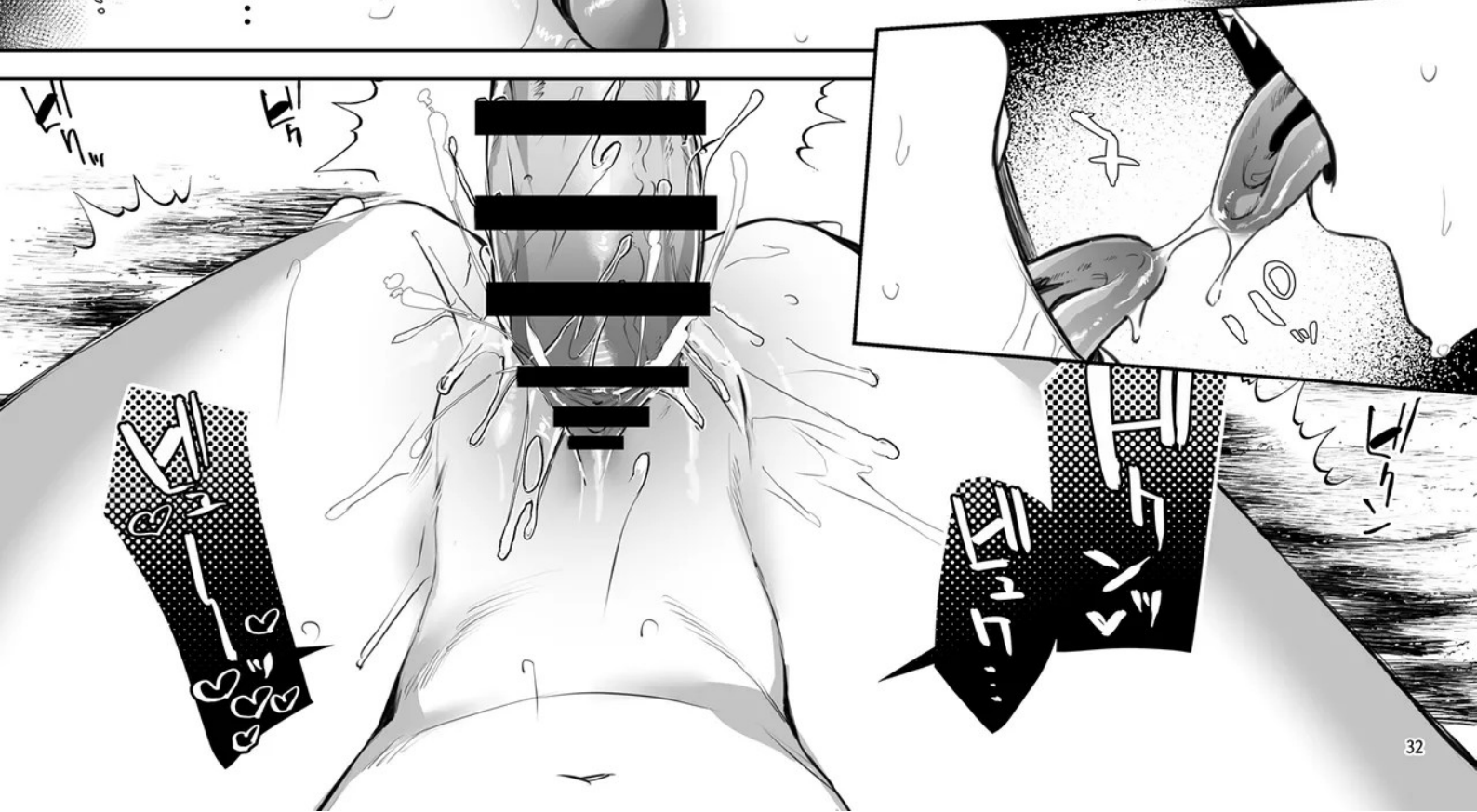
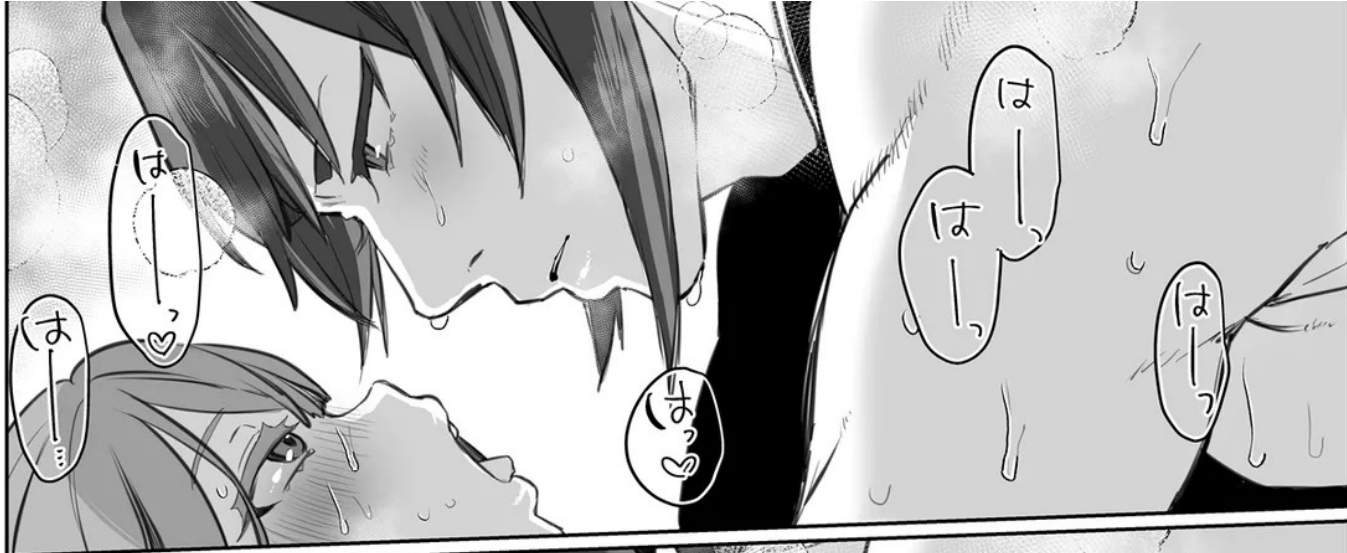
でるっ

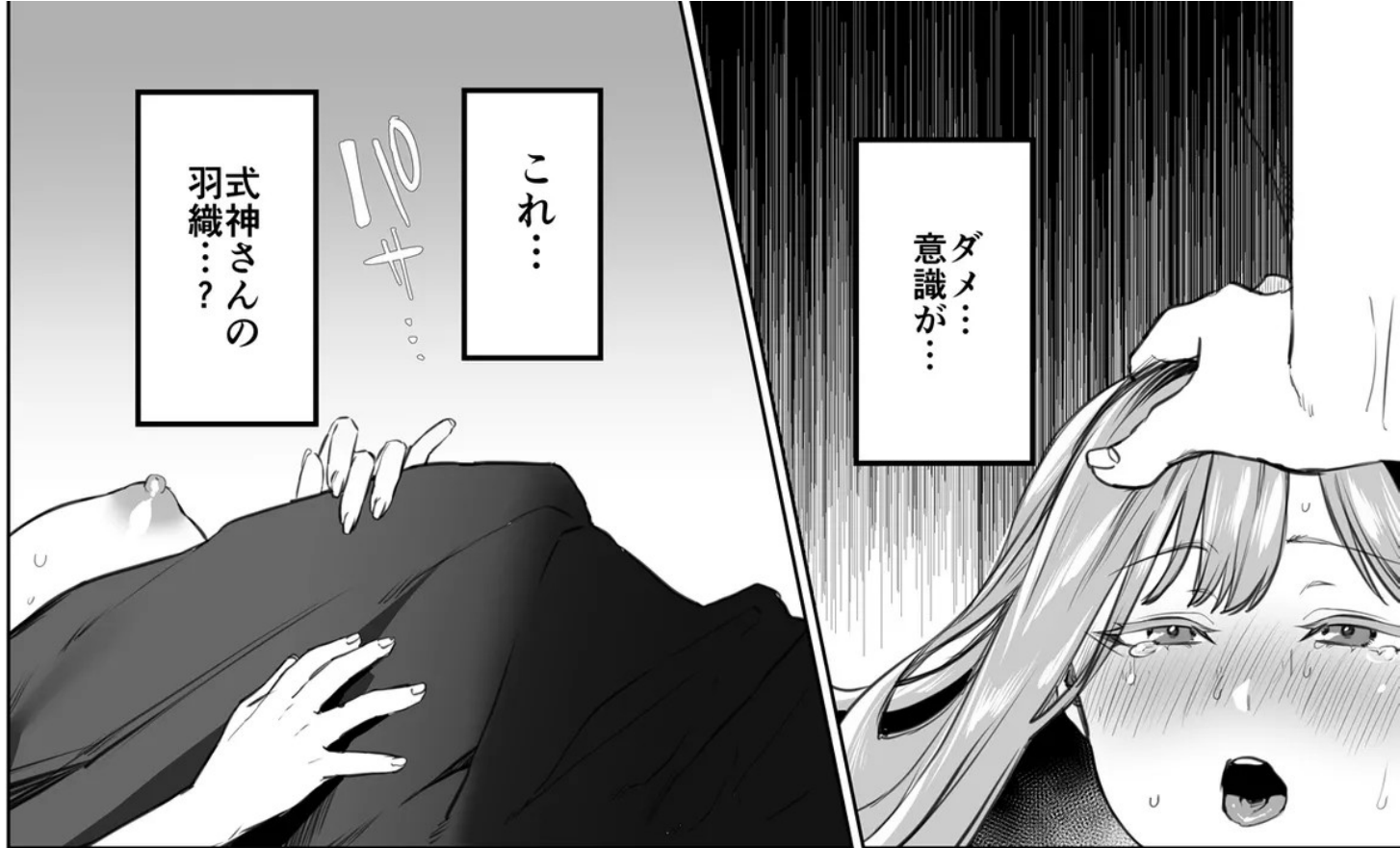
オイ

ああ

ああ







式神さんの
羽織…？

これ…

ダメ…
意識が…



なんでだろ…

すごく安心する…



でもっ
私18歳になったから
ばっかりなんだから

うちにお酒は無いし
買ってくるなんて
無理だからね！

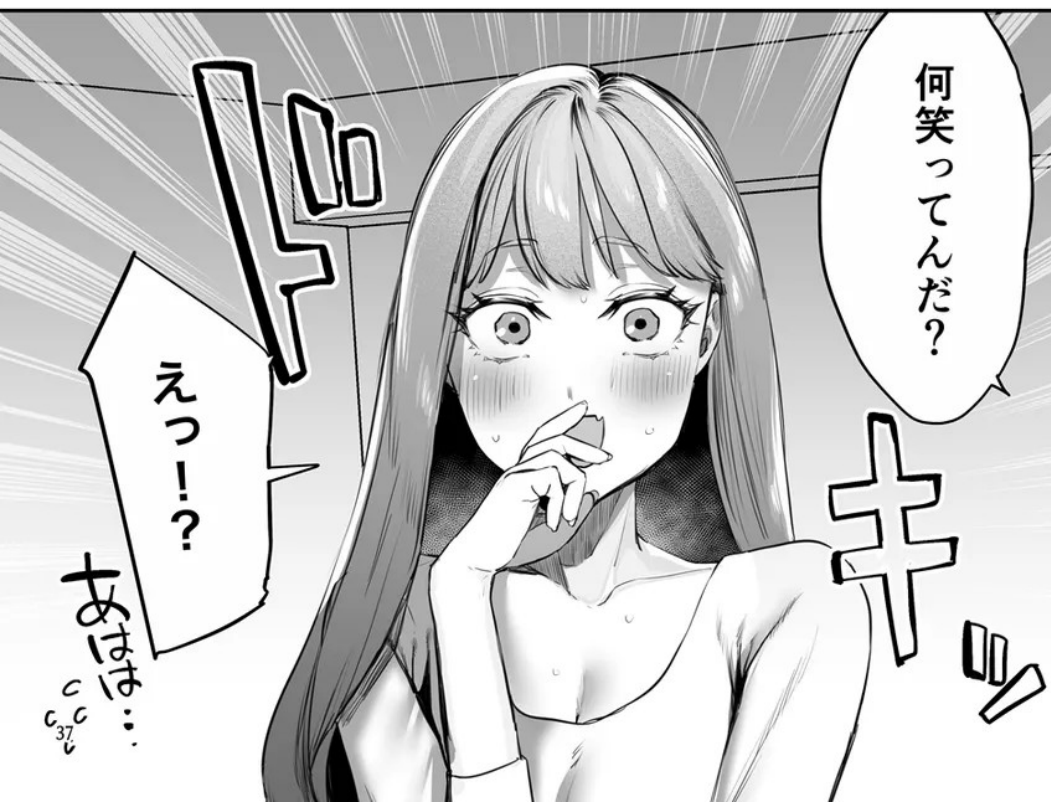


何！？

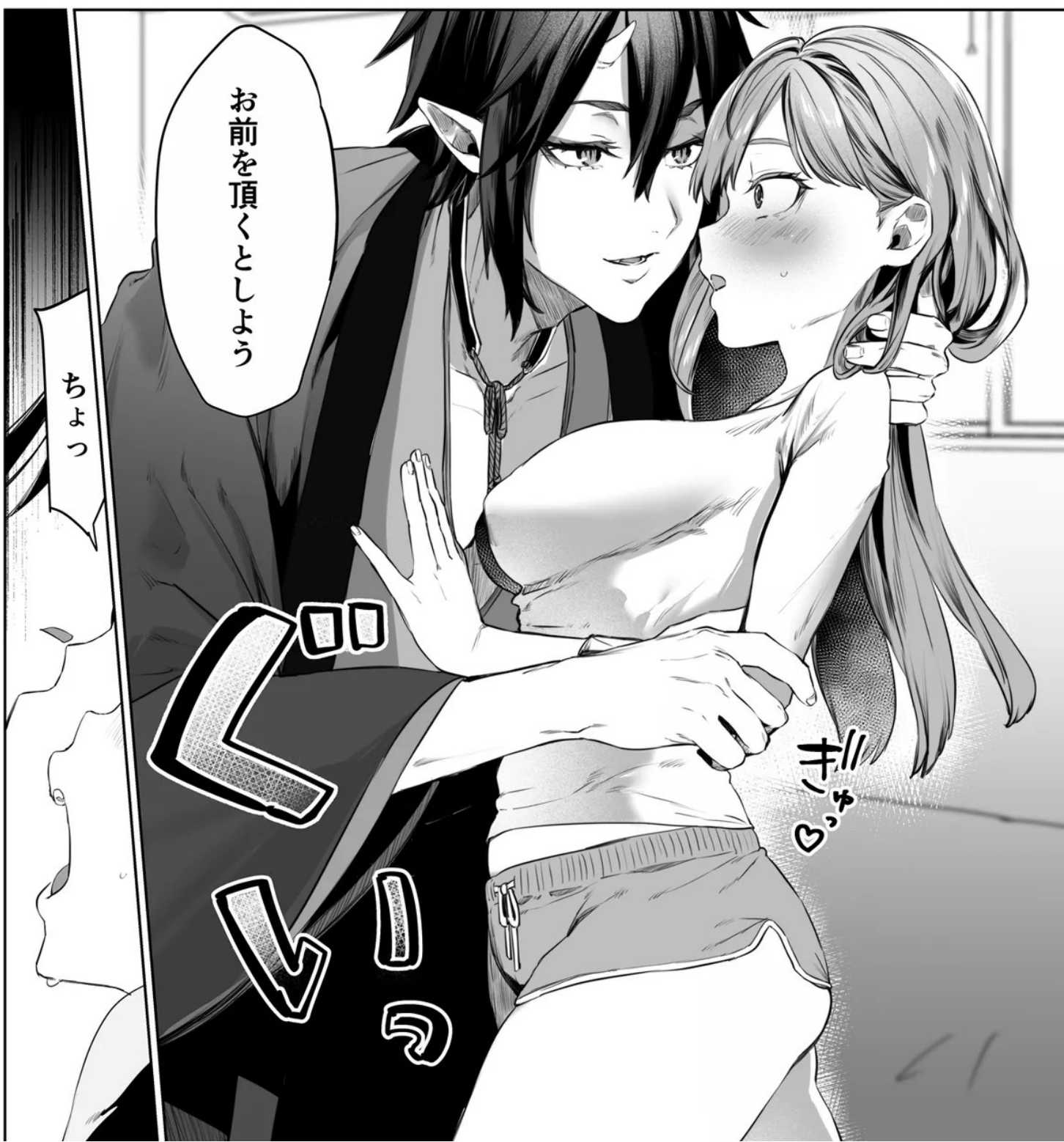
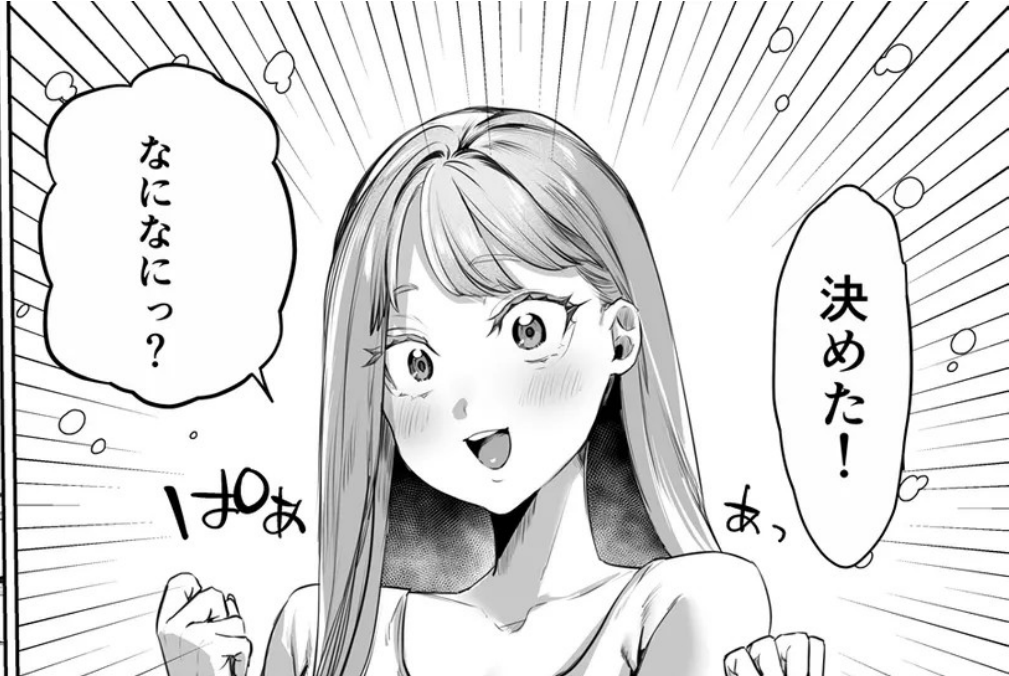
俺を喚ぶのに
酒の一合も
用意してないだと！

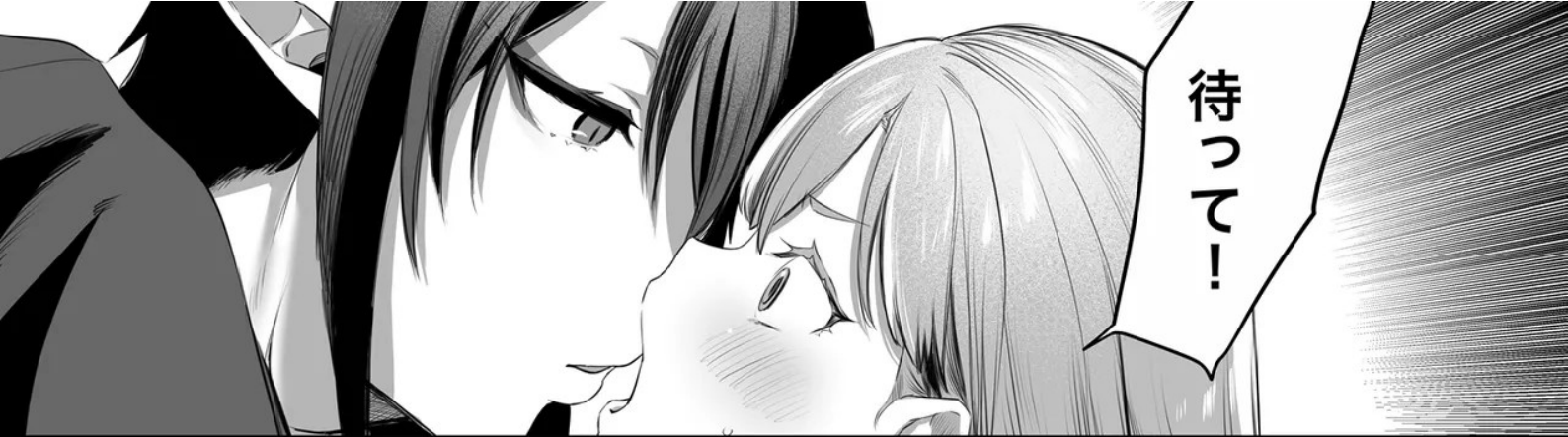
何ということだ…

おっ…









待って!



じゃ...じゃあ

ごはんって
どうするの?

食べなくて
いいの...?

ぐぐ...

ああ、心配いらん



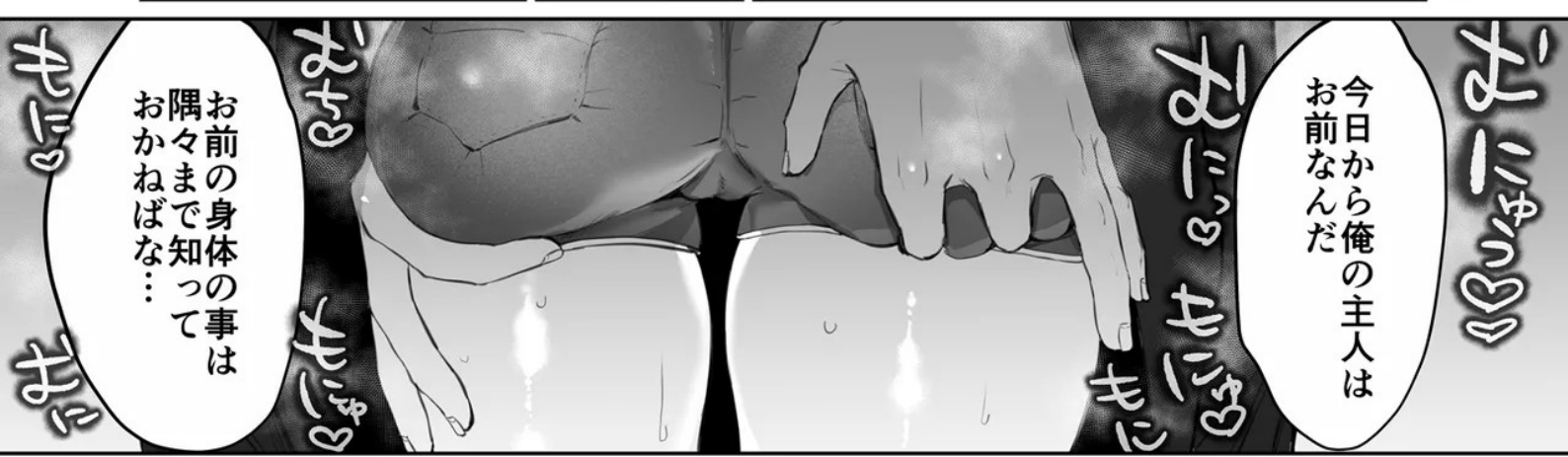
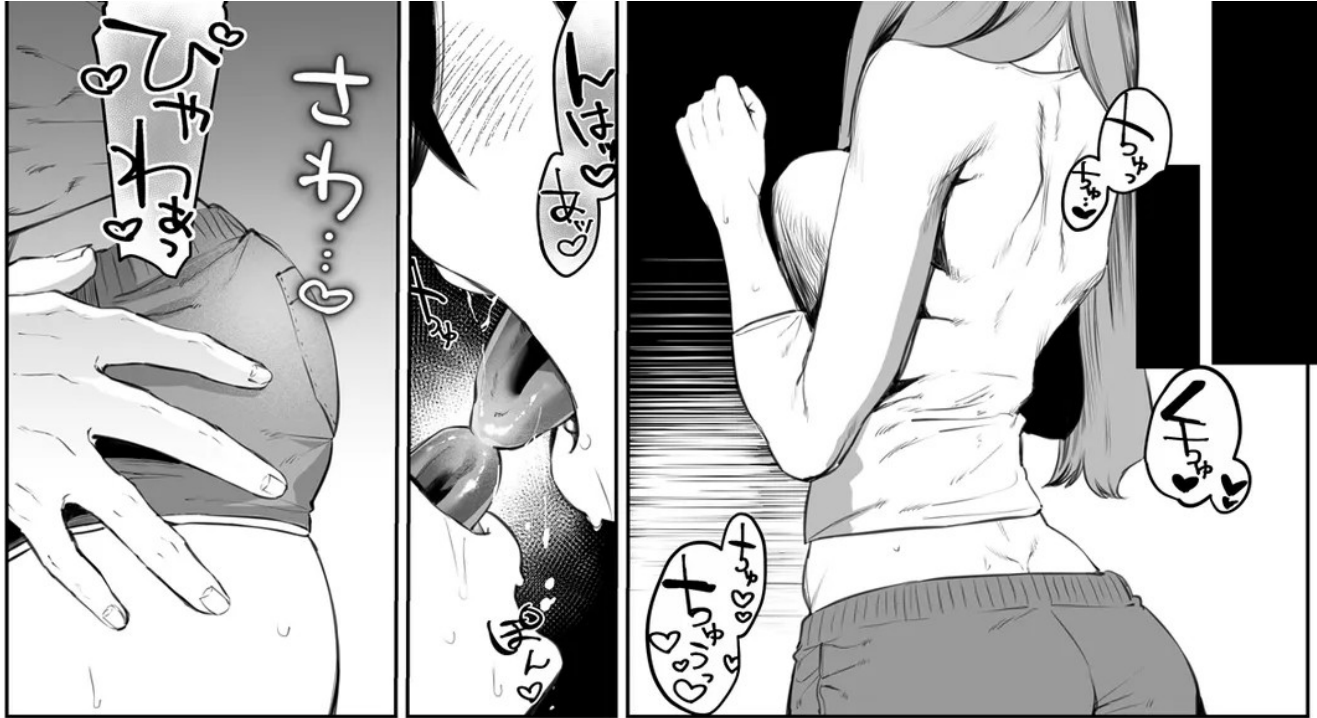
俺の食事はお前の
妖力だからな

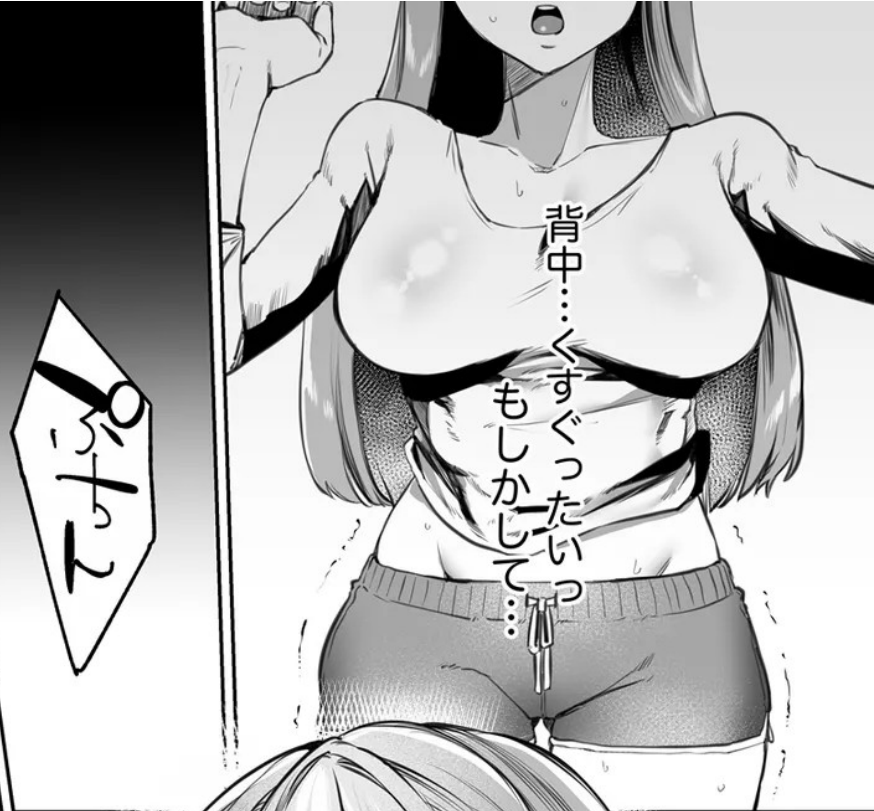
腹一杯まで
食い尽くしてやる

聞いてないけど!?

トッ...

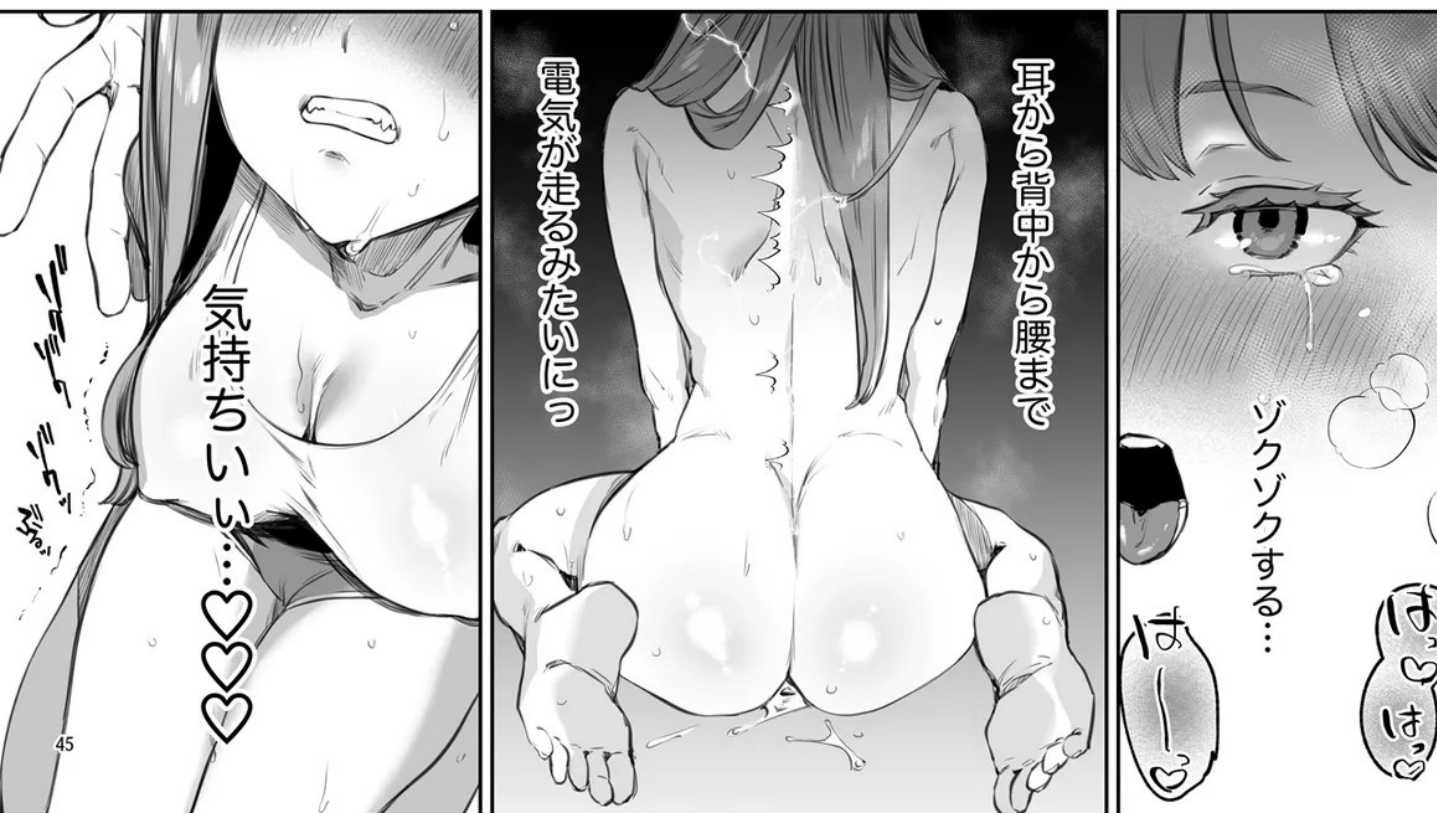
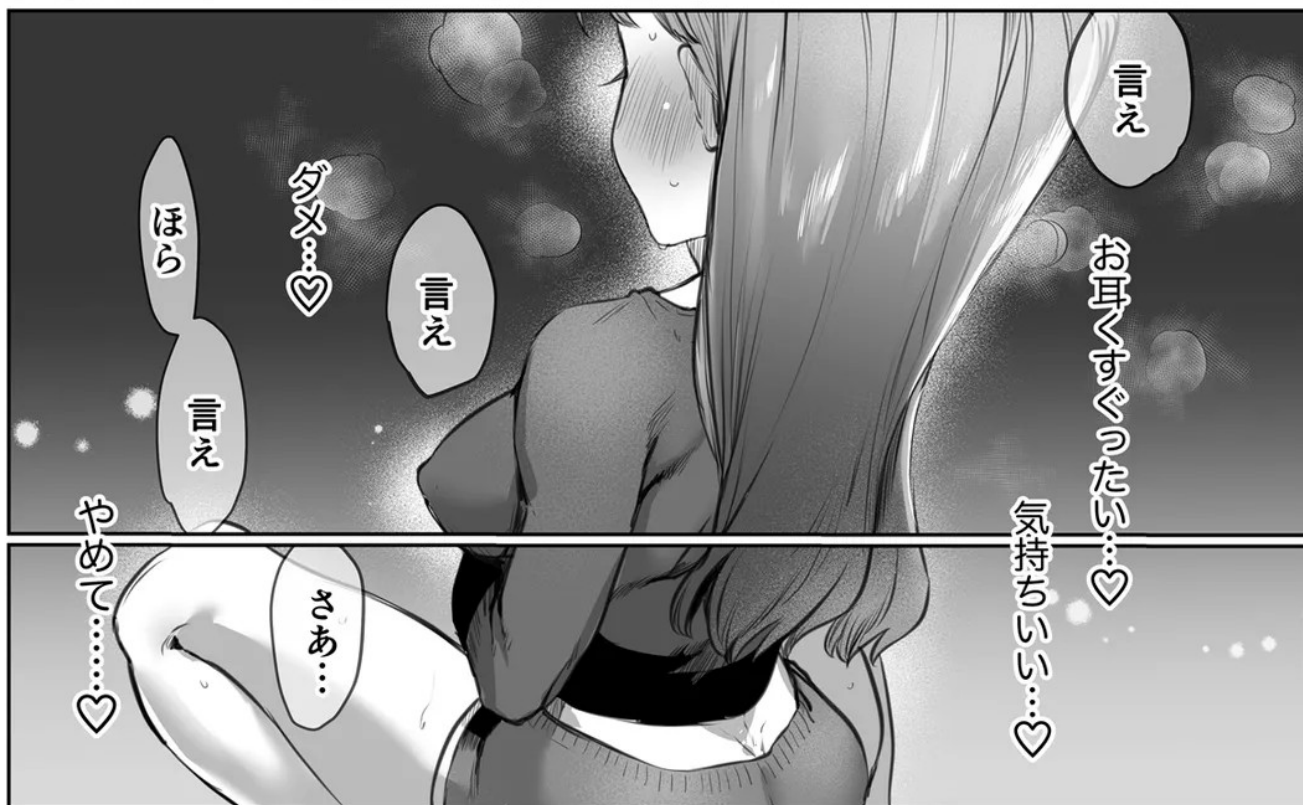
ハハ
言っていないからな





あ...ブラだけ脱がされて...













主人の身ながら
式神に主導権を
握らせるとはなあ

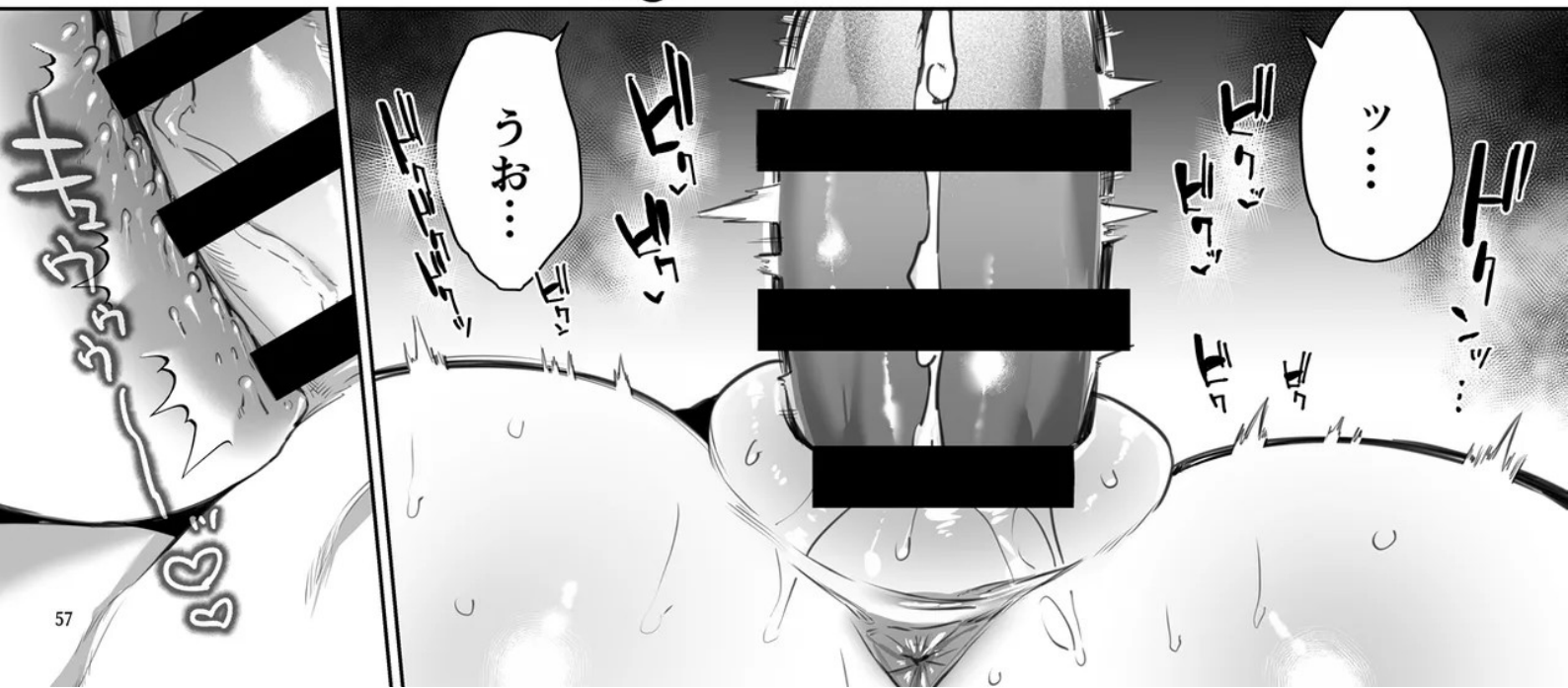
あ♡あ♡

指ふっつ♡気持ちいい♡









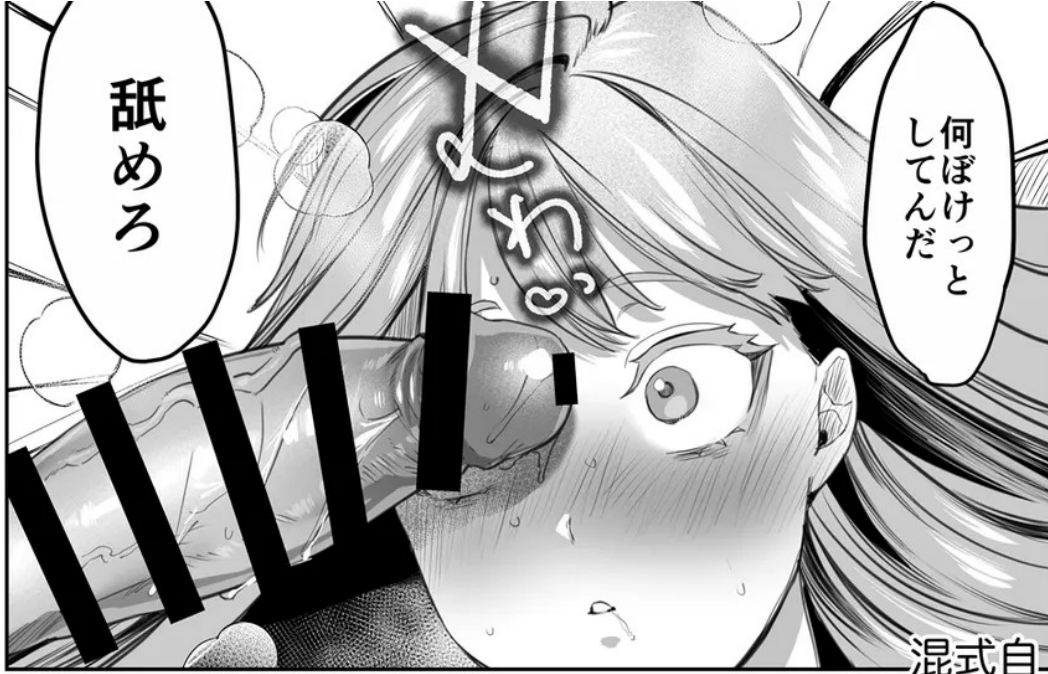


締まッ...

ぐっ...

おっ...

んんん



舐めろ

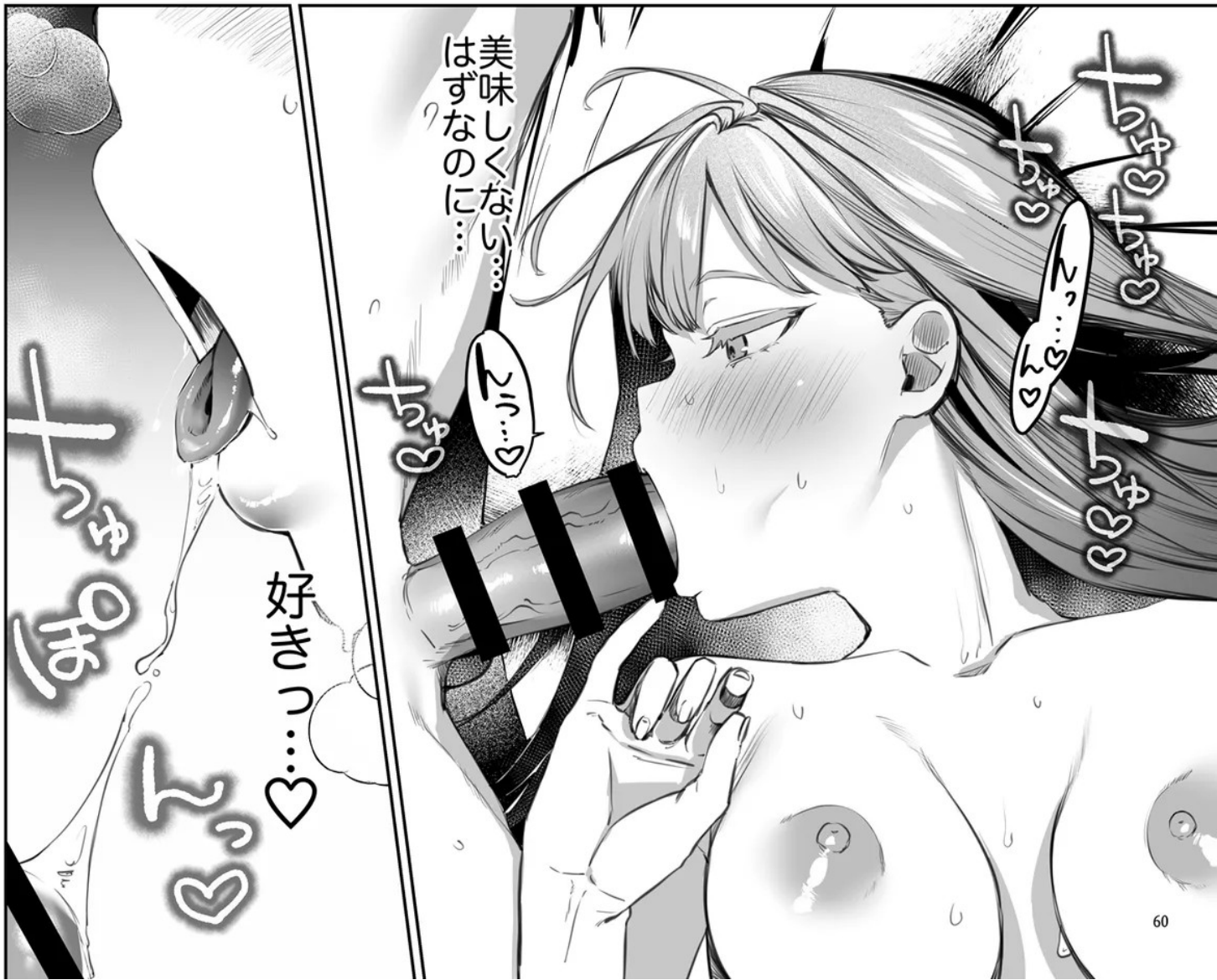
何ぼけっと
してんだ



もう…
動けな…



自分の愛液と…
式神さんの精液が
混ざって…

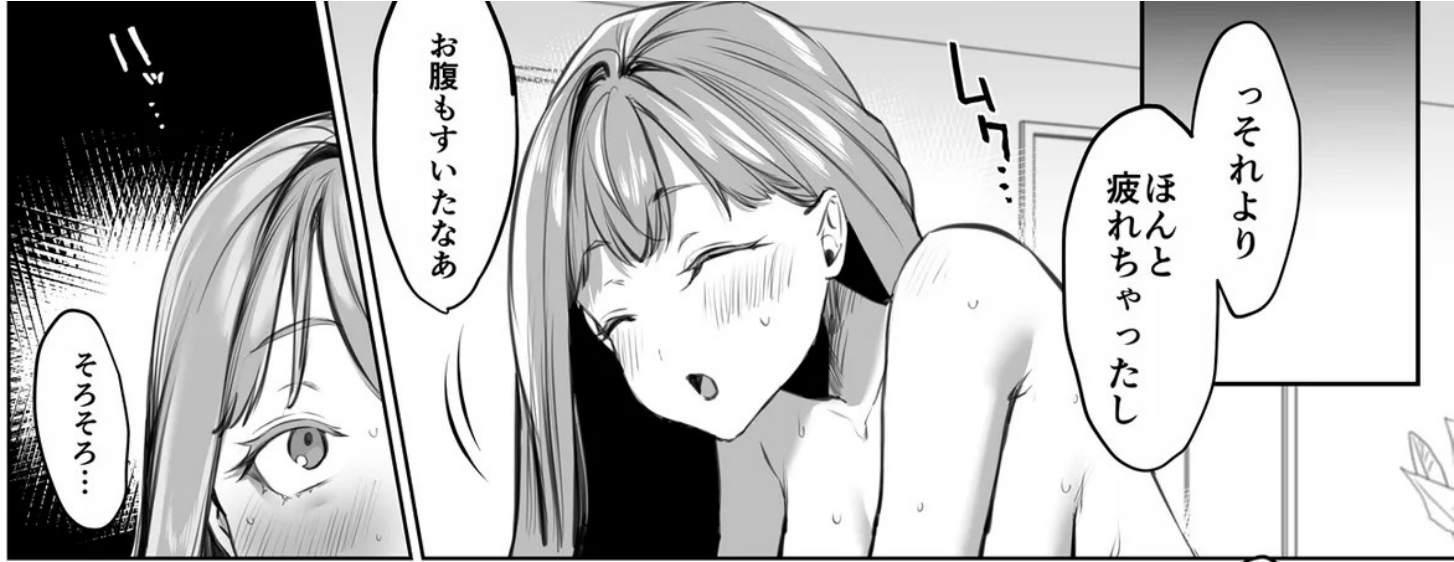


美味しくない…
はずなのに…

しゃわっ
しゃわっ

好きっ…♡







私の身体
式神さんの形になっちゃう♡

これダメッ♡

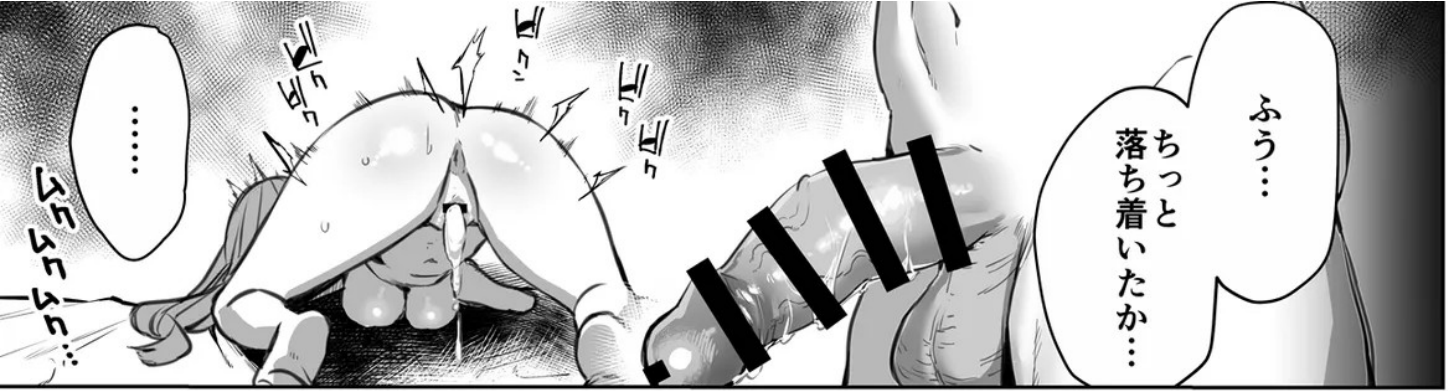
完全にハマっちゃってる♡

あつダメ…♡

壊れちゃうっ…♡

オイ
オちてんじや
ねーぞ

あー♡
あー♡
射精されながら
奥突かれてっ♡



ちっと
落ち着いたか…

ふう…

垂れ流しで
気絶すんな

誘ってんのか



おっ出る出る

これももう腹
満タンなん
じゃね？

もおっ…
こんなっ

ぐちゃぐちゃに
することない
じゃん！

鬼！
悪魔っ！

ハッ
ハハハハ





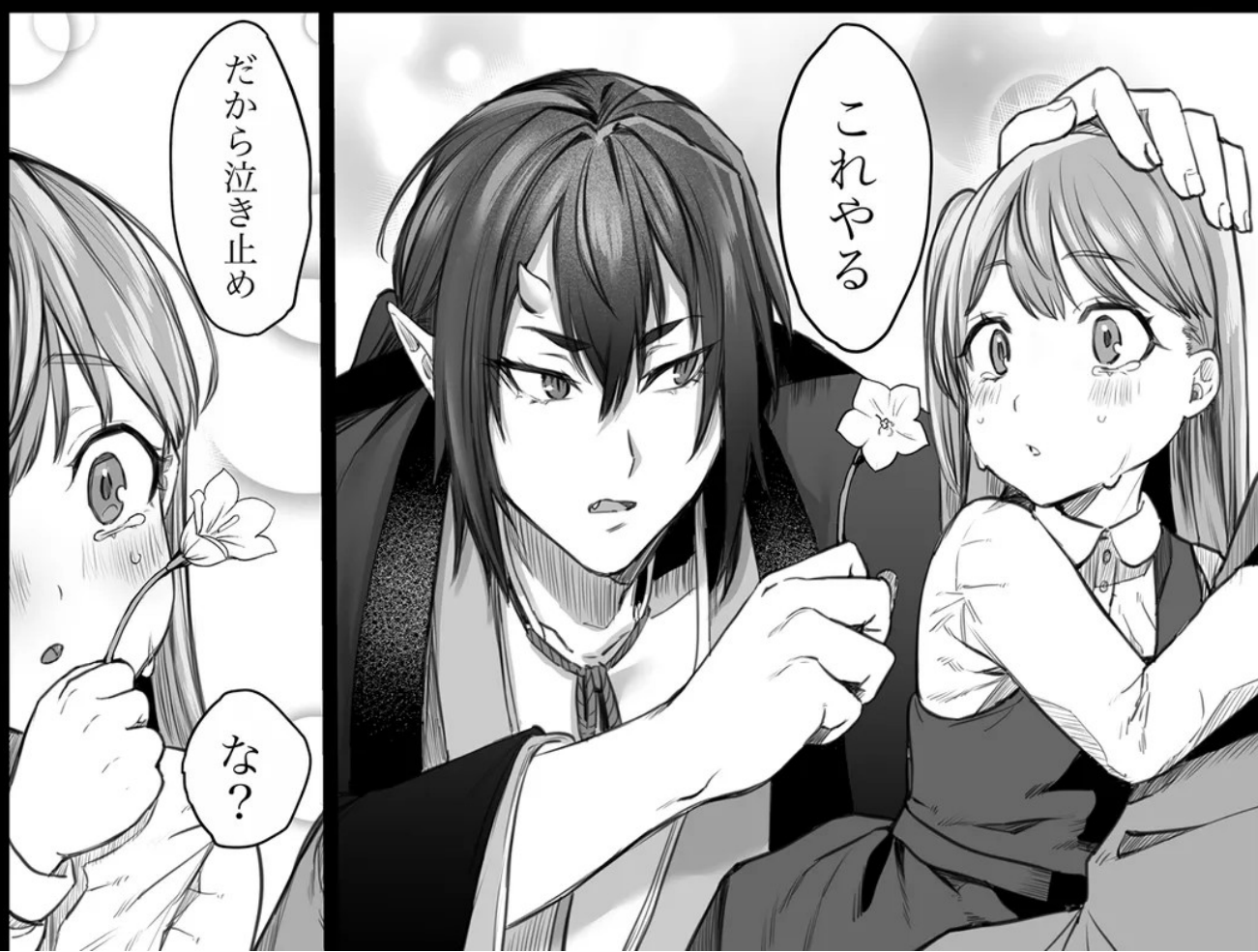
まさか今頃気付いた
訳ではあるまいな

俺は真正正銘
本物の鬼様だよ

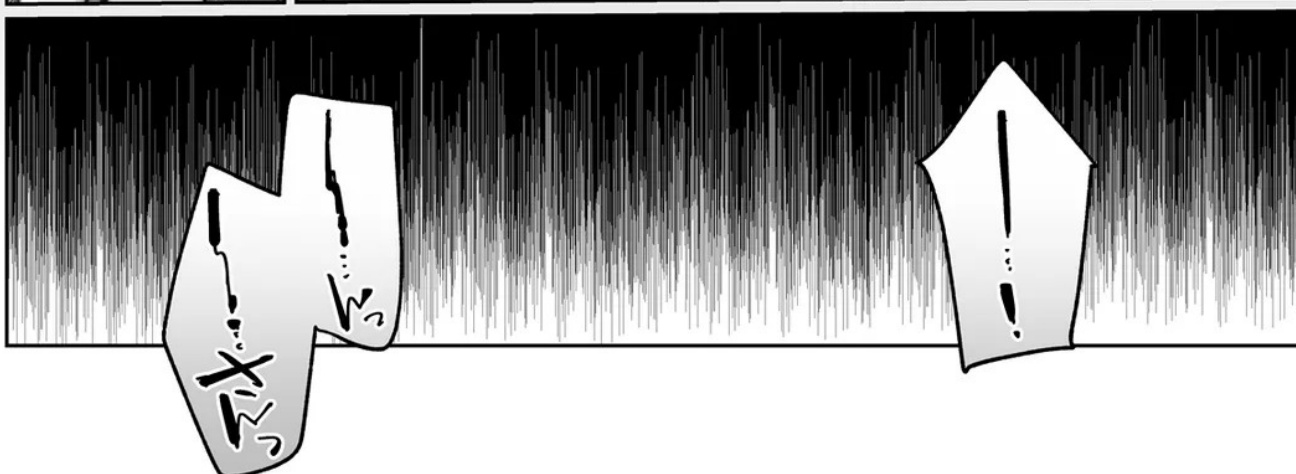
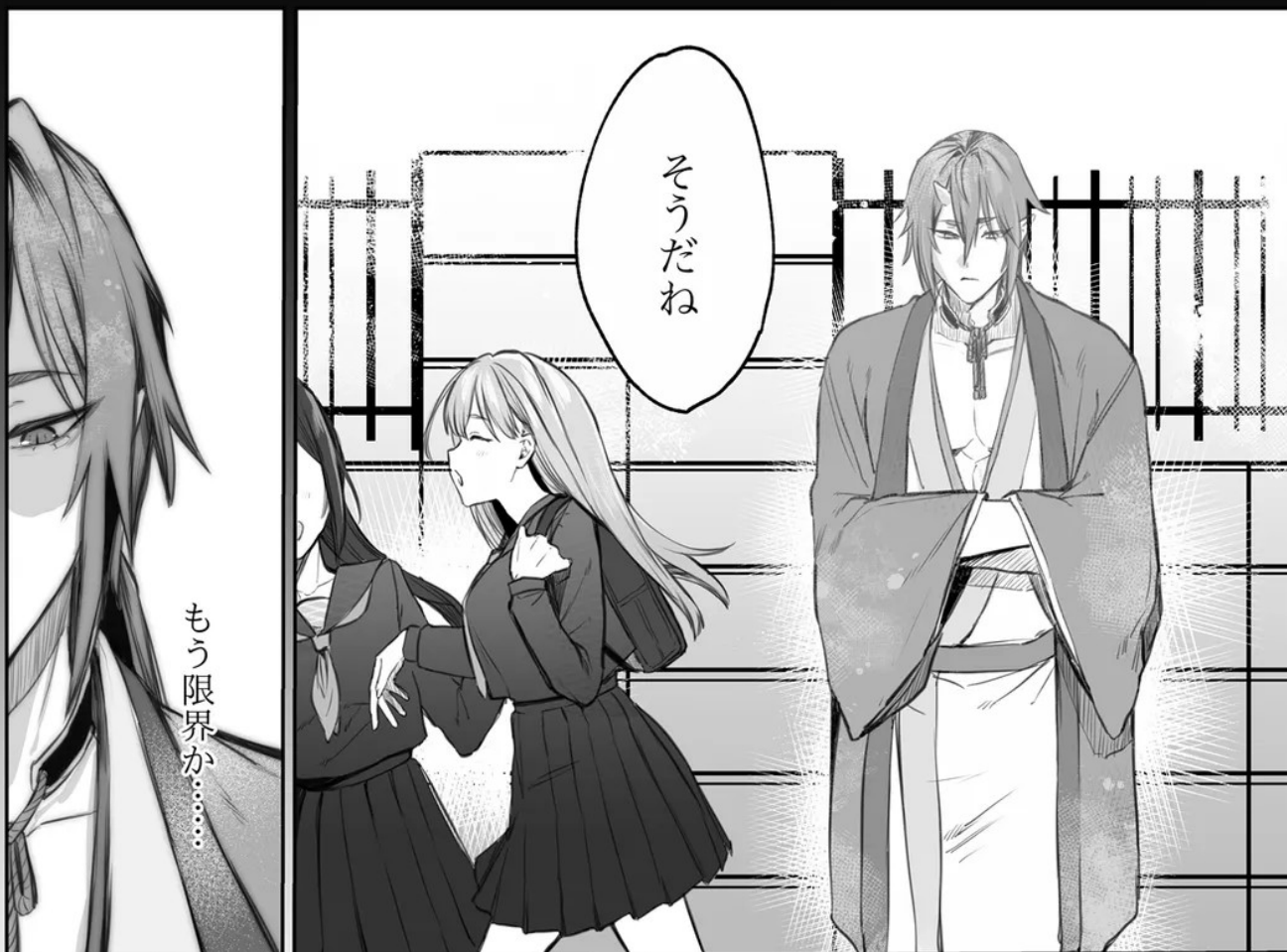
バーカ







志乃









キス…きもち…♡

あー

あー♡♡♡

あー♡♡♡

昨日たくさんシたから…♡

キス好きになっちゃってる♡

あ…♡

キスであたま
しびれる♡

あ♡

脳みそ溶けちゃう…♡

あ…♡♡♡





お口... 好きだよ♡

イクッ♡

イクイクッ♡

ああ...♡

お口...♡
ん...♡

乳首で
イッちゃった...♡

お口...♡
ん...♡

お口... 好きだよ♡

イクッ♡

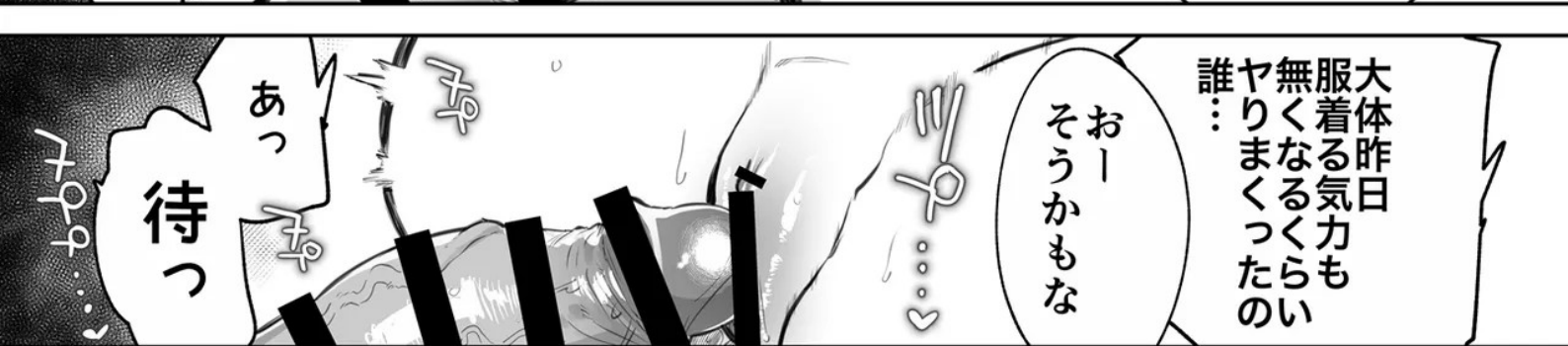
イクッ♡

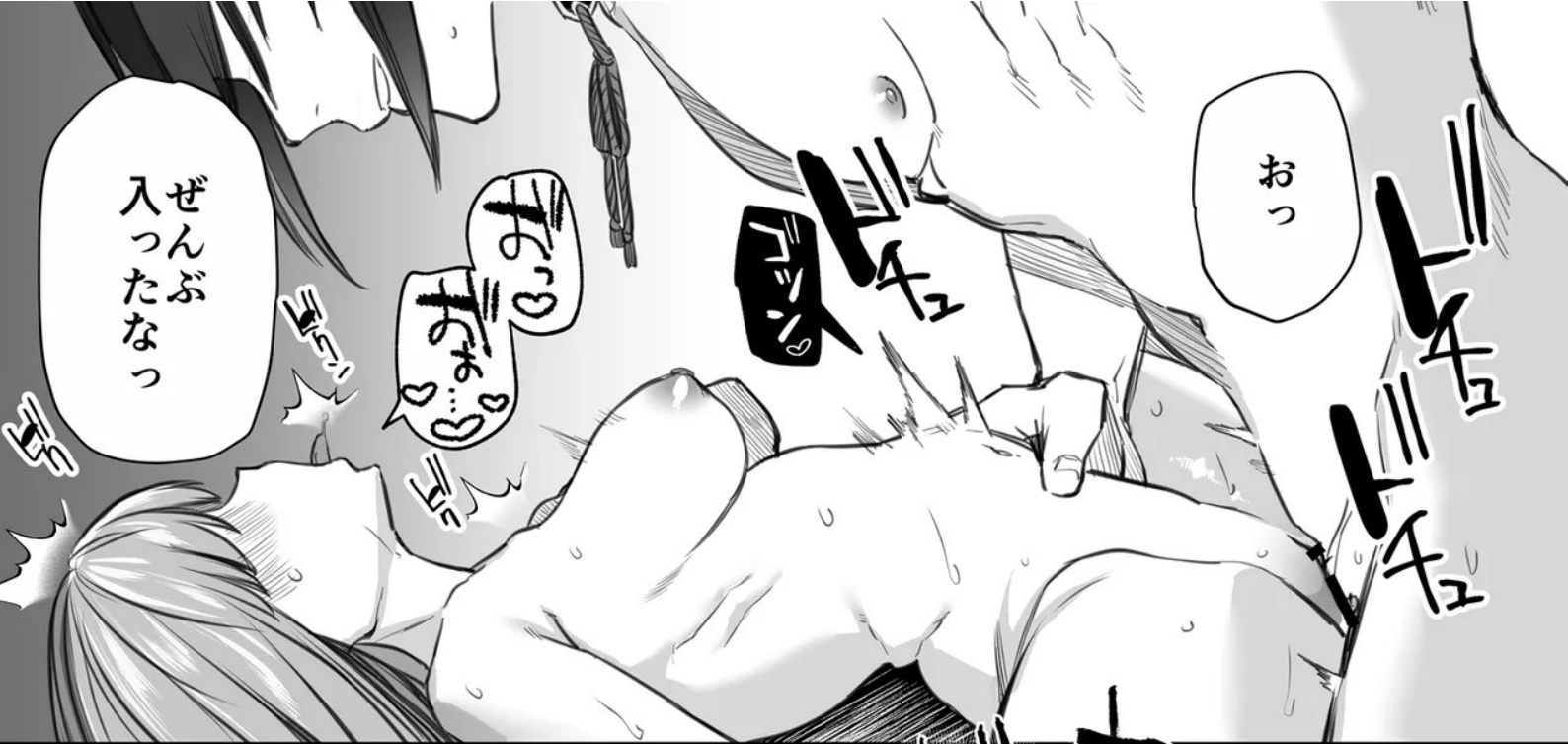
イクッ♡

お口...♡
ん...♡











おっ
♡

おっ
♡

おっ
♡

おっ
♡

奥っ...
おもいつつ
突かれて
とろとろになるっ...♡

ト
チ
ト
チ

レ
レ

レ
レ

ト
チ
ト
チ

ト
チ
ト
チ



志乃…

志乃ッ…

この香り…

絹のような黒髪から薫る…

わたし

どこかで



すごく大事な事！
思い出さなきゃ
いけないこと

ある…
気がする…
の…



コレがっ♡

気持ちよすぎん♡♡♡♡



わたしのカラダっ♡
式神さんのコト♡

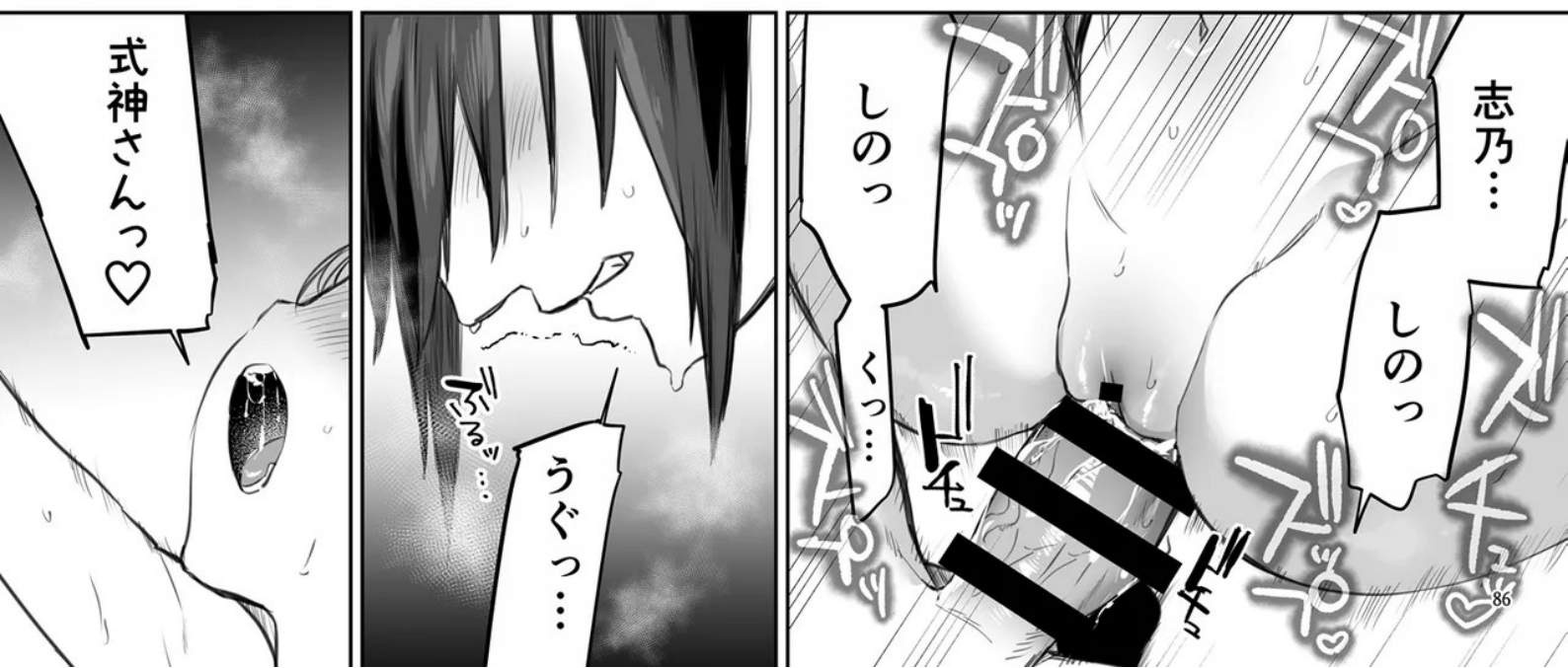
完全に
受け入れちゃってる♡



考えるチカラ奪われるっ♡

これのことしか考えられなくなるっ♡

志乃っ…



志乃…

しっ

しっ

くっ…

うぐっ…

式神さんっ♡







良い香り…
懐かしい香り…

志乃

長い間一人に
させてすまなかった

何の…
たっかおり…
だっけ…

これから
ずっと側には…

